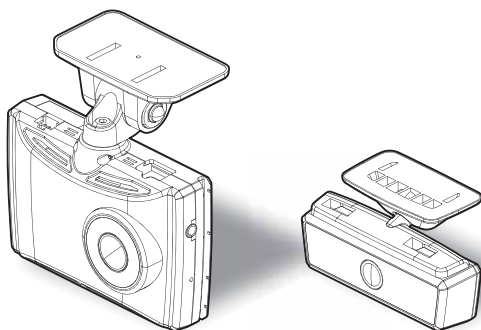


HDR-951GW



お買い上げ時の設定では、液晶表示は安全運転の妨げとならないように、起動後速度 10km/h 以上で走行すると非表示に切り替わります。(⇒ P65)

この度は本製品をお買い求めいただきまして誠にありがとうございます。本書は取付けおよび操作手順について記載してあります。正しくご使用いただくために本書をよくお読みのうえ、ご使用ください。お読みになった後は、いつでも見る事ができる所に保管してください。なお、本書の巻末に保証書が添付されています。必要事項を記入し、大切に保管してください。

⚠ 注意

本製品が動作した状態（駐車監視モード中含む）で microSDHC カードの抜き差しを行わないでください。microSDHC カードの破損や録画データの破損の原因となります。必ず、車両キースイッチを OFF 後 microSDHC カードのアクセスランプ（橙）が消灯したことを確認し、microSDHC カードの抜き差しを行なってください。
※駐車監視モード中は P72 を参考に取り出しを行なってください。



👉 アドバイス

事故発生時は記録された録画データが上書きされないように、必ず microSDHC カードを抜いて保管してください。

購入後 1 ヶ月以内に補償サービスへ登録しなかった場合、補償サービスは受けられませんのでご注意ください。

COMTEC

はじめに

取付け

映像を撮る

映像を見る

運転支援機能
を使用する

設定

駐車監視機能
を使用する

その他

目次

目次	2	運転支援機能を使用する	49
はじめに	3	運転支援機能について	49
安全上のご注意	3	キャリブレーションを行う	53
ご使用上のお願い	5	設 定	55
知っておきたいこと	6	設定方法	55
新しい microSDHC カードを		設定内容一覧	57
使用する場合について	8	機能設定	62
microSDHC カードの		運転支援機能設定	68
取り出し方について	9	機器情報	69
梱包内容	10	駐車監視モードを使用する	70
各部名称	11	駐車監視モードについて	70
別売オプション	12	駐車監視モードの動作について	71
取付方法	13	駐車監視モード作動中の	
取付手順を確認する	13	microSDHC カードの取り出し方	72
シガープラグコードを接続する	13	駐車監視モードの各種設定	73
本体の取付位置を確認する	14	補償サービス	77
本体を取付ける	15	補償サービスについて	77
日時を設定する	22	付 録	81
動作を確認する	23	よくあるご質問	81
映像を撮る	25	LED ランプ確認表	82
映像の記録について	25	オートディマー機能	82
電源を ON にする	31	メッセージ一覧表	83
電源を OFF にする	31	製品仕様	84
リセットスイッチについて	31	さくいん	86
映像を見る	34	保証規定	87
本体で映像を再生する	34	HDR-951GW 保証書	裏面
ナビゲーションで映像を再生する	37		
パソコンで映像を再生する	38		
パソコンで録画データを			
保存 / 削除する	45		
地図表示について	47		
保存ファイルを開く	48		
ファームウェアを更新する	48		

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここに記載された注意事項は、お使いになる方や他の人への危害や損害を未然に防止するため、必ずお守りください。

また注意事項は誤った取扱いをした時に生じる危害や損害の程度を、「警告」、「注意」の2つに区分して、説明しています。

⚠ 警告 この表示は「使用者が死亡や重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。

⚠ 注意 この表示は、「使用者が傷害や物的損害を被る可能性が想定される内容」を示しています。

本書で使用している記号について	
	この記号は、してはいけない「禁止」内容を示しています。
	この記号は、しなければならない「強制」内容を示しています。
	この記号は、気をつけて頂きたい「注意」内容を示しています。
⇒ PXX	参照先を記載しています。(XX はページ)
 アドバイス	本製品に関する補足情報を説明しています。
長押し	スイッチを3秒程度長めに押すことを示しています。

⚠ 警告	
	運転者は走行中に本製品を操作しないでください。わき見や前方不注意により交通事故の原因になります。運転者が操作する場合は、必ず安全な場所に車を停車させてから行なってください。
	本製品を水につけたり、水をかけたり、またぬれた手で操作しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
	本製品を分解・改造しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
	本製品が万一破損・故障した場合は、すぐに使用を中止して販売店へ点検・修理を依頼してください。そのまま使用すると火災・感電・車両の故障の原因となります。

はじめに

 警告	
	本製品を医療機器の近くで使用しないでください。医療機器に影響を与える恐れがあります。
	穴やすき間にピンや針金を入れないでください。感電や故障の原因となります。
	異物が入ったり、煙が出ている、変な臭いがするなど異常な状態では使用しないでください。発火して火災の原因となります。
	運転の妨げになる場所には取付けしないでください。事故の原因となります。
	エアバッグの展開場所には取付けしないでください。万が一エアバッグが作動した場合、怪我の原因となります。また、配線等によりエアバッグの動作不良を起こす原因となります。
	microSDHC カードは子供の手の届かない場所に保管してください。誤って飲み込んでしまう恐れがあります。
	取付けネジの緩み、両面テープの剥がれなどないか、定期的に点検を行なってください。運転の妨げや事故の原因となることがあります。
 注意	
	気温の低いところから高いところへ移動すると、本製品内に結露が生じることがあります。故障や発熱などの原因となりますので、結露したまま使用しないでください。
	本体の通気孔を塞がないでください。内部に熱がこもり、故障の原因となります。
	本製品を下記のような場所で保管しないでください。本体の変色や変形など故障の原因となります。 ・直射日光が当たる場所や真夏の炎天下など温度が非常に高い所。 ・湿度が高い所やほこりの多い所。
	microSDHC カードを本製品に挿入する場合、挿入方向を間違えないでください。故障や破損の原因となります。
	本製品は精密な電子部品で構成されており、下記のようなお取扱いをするとデータの破損、故障の原因となります。 ・本体に静電気や電気ノイズが加わった場合。 ・本体を水に濡らしたり、落としたり、強い衝撃を与えた場合。
	一部の運転支援システム装着車の場合、取付け位置によっては制御に影響を及ぼす恐れがあります。取付け前に、車両の取扱説明書をご確認ください。

ご使用上のお願い

- 本製品は全ての映像を記録することを保証するものではありません。あらかじめご了承ください。
- 本製品は事故発生時の参考資料として使用することを目的とした製品です。完全な証拠としての効力を保証するものではありません。
- 本製品は車載用ドライブレコーダーとして設計されています。それ以外の用途には使用しないでください。またそれ以外の用途で使用した場合の不具合等に関しては一切の責任を負いかねます。
- 本製品は使用方法によりプライバシーなどの権利を侵害する恐れがありますのでご注意ください。またイタズラなどの目的で使用しないでください。これらの場合について、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 事故発生時は記録された録画データが上書きされないように、必ず microSDHC カードを抜いて保管してください。
- microSDHC カードを抜く時は必ず、車両キースイッチ OFF 後 **microSDHC カードのアクセスランプ（橙）が消灯**したことを確認してから抜いてください。microSDHC カードへのデータ書き込み中および読み込み中に microSDHC カードの抜き差しを行うと、データ破損やデータ消失、microSDHC カード故障の原因となりますのでご注意ください。
- microSDHC カード内に本機以外のデータを入れないでください。動作が不安定になることがあります。
- 本製品を使用中にデータが消失した場合でも、データ等の保証は一切の責任を負いかねます。
- 万一のデータ消失に備え、必要なデータはパソコンに動画で保存することをお勧めします。
- 本製品を動作温度範囲外で使用すると、正常に動作しない場合や、映像が綺麗に記録されない場合があります。
- 真夏などの炎天下の中で使用する場合、液晶画面に「高温注意」が表示されるなど製品が正常に動作しない場合があります。特に夏場は車内が高温になるため、窓を開けるなど車内の温度を下げてからご使用ください。
- LED 式信号機は LED が高速で点滅しているため、信号機が点滅しているような映像が記録される場合があります。また逆光や信号機自体の輝度が低い等により、信号機の色が識別できない場合があります。そのような場合は、前後の映像、周辺の車両状況から判断してください。信号機の識別、記録に関する内容について弊社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品は広角レンズを使用しているため、映像の一部にゆがみや影が生じることがあります。また実際の遠近感とも異なります。これらは広角レンズの特性であり、異常ではありません。

はじめに

- サブカメラの映像は赤外線 LED を使用した場合、被写体が赤みをおびた映像で録画される場合があります。
- 赤外線の照射光や赤い光は、長時間、直接見ないようにしてください。目に悪影響を与える恐れがあります。
- 一部断熱ガラス（金属コーティング・金属粉入りなど）、一部熱吸収ガラス、一部のミラー式フィルム装着車の場合、GPS 衛星からの電波が受信できない場合があります。
- Windows のアップデートや Google マップの仕様変更などにより、ビューワソフトで地図が表示できないなど、正常に動作しなくなることがあります。あらかじめご了承ください。
- 本製品にはお買い上げの日から 3 年間の製品保証がついています。
(ただし microSDHC カード、両面テープ等の消耗品は保証の対象となりません)
- 本製品を船舶、航空機、バイク、自転車で使用しないでください。
- 本製品は DC12V/24V 車専用です。
- 本製品は日本国内でのみ使用できます。海外では使用できません。
- 部品の交換修理、パーツ購入に関しましては販売店にお問い合わせください。
- 本製品の故障による代替品の貸出は弊社では一切行なっておりません。
- 本製品の仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

万一の事故発生時に映像が記録されていなかったり、記録した映像が破損した場合など、本製品の動作有無にかかわらず一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

知っておきたいこと

● 液晶ディスプレイについて

- ・ 液晶ディスプレイは 99.99% 以上の有効な画素がありますが、一部点灯しない画素や常時点灯する画素が存在する場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- ・ 液晶ディスプレイは周囲の温度が約 75℃以上になるとディスプレイの全体が黒くなったり、約 -10℃以下になると画像が遅れて表示されたり、表示された画像が消えるのに時間がかかったりします。これは液晶ディスプレイの特性であって故障ではありません。周囲の温度がディスプレイの安定動作する温度になると元の状態に戻ります。
※上記の状態でもディスプレイが表示されていない場合でも、その他の機能は正常に動作しています。

● GPS とは

「Global Positioning System」アメリカ国防総省の衛星を利用し、地上での現在位置を計測するシステムです。

● GLONASS とは

「GLObal'naya NAVigatsionnaya Sputnikovaya Sistema」ロシア宇宙軍の衛星を利用し、地上での現在位置を計測するシステムです。

● 準天頂衛星「みちびき」(QZSS) とは

「Quasi Zenith Satellites System」宇宙航空研究開発機構 (JAXA) の衛星を利用し、日本上空での現在位置を計測するシステムです。「みちびき」からの信号を受信することにより、GPS のみによる測位に比べ、山間部や都心部の高層ビル街などでも、さらに正確な現在位置を計測できるようになりました。

● 衛星データ

本製品は、一旦 GPS 衛星を正常に受信した後、衛星の移動軌跡を計算し記憶します。これは走行時にトンネルなどで衛星受信ができなくなった場合、再受信するまでの処理を早めるためです。また、まれに GPS 受信が長時間に渡ってできない場合があります。

● GPS 衛星受信と車載電子機器

ナビゲーション本体や、地デジチューナーおよび衛星放送受信機などの車載電子機器からの漏れ電波により、GPS 衛星を受信できないことがあります。そのような場合、車載電子機器から離し GPS 衛星の受信に影響のない箇所へ本製品を取付けてください。

● GPS の測定誤差について

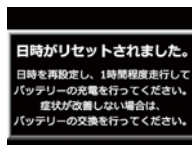
本製品の GPS 機能は衛星の受信状態などにより、約 50m 程度の測定誤差が出る場合があります。

● GPS の速度表示について

GPS での速度計測は、車両スピードメーターの速度計測方法と異なるため、表示される速度に差が出る場合があります。

● 日時情報保持用の内蔵バッテリーについて

- ・本製品は日時情報を保持するために本体内部にバッテリーを搭載しています。
- ・初めて使用する場合や長期末使用 (6 ヶ月以上) の場合は、1 時間ほど走行し内蔵バッテリーの充電を行なってからご使用ください。
- ・内蔵バッテリーは消耗品のため充電を行っても右記メッセージ画面が表示される場合は、裏表紙記載の弊社サービスセンターまでご相談ください。内蔵バッテリーの交換に関してはお預かり修理での対応となります。



はじめに

● microSDHC カードについて

- ・ 付属の microSDHC カードは本機専用です。
- ・ 本機を使用するときは、microSDHC カードが必要です。
- ・ microSDHC カードは消耗品であり、書き込み可能回数など製品寿命があります。1 日 2 時間程度使用する場合で約 1 ～ 2 年を目安に交換することをお勧めします。また、使用状況により microSDHC カードの寿命は短くなります。
※寿命となった microSDHC カードはパソコンでも読み込みができなくなるなど、正常に動作しなくなります。
- ・ microSDHC カードをパソコンでフォーマットすると記録されたデータがすべて消去されます。
- ・ 本製品使用時は付属の microSDHC カードを使用してください。付属品以外の microSDHC カードとの相性による動作不良については一切の責任を負いかねます。

● 本製品のファイルシステムについて

- ・ 本製品はドライブレコーダー向けに開発された専用ファイルシステムを採用しています。
- ・ 本製品の専用ファイルシステムは記録と削除の繰り返しによる microSDHC カードの断片化が起こらないファイルシステムとなっているため、microSDHC カードを定期的にフォーマットせずに使用することができます。
- ・ 本機で記録したデータをパソコンなどで削除を行なうと、本機に戻した際に録画データの整合性が取れず SD カードの初期化画面へ移行します。記録したデータを削除する場合は、ビューワソフトを使用して削除する、または本体の設定メニューから SD カードの初期化を行なってください。
- ・ パソコンなどでフォーマットを行なった microSDHC カードを本機へ挿入すると SD カードの初期化画面が表示されますので、そのまま使用する場合は初期化を行なってください。

● パソコンでのフォーマットについて

- ・ パソコンで microSDHC カードをフォーマットする場合は、専用フォーマットソフトを使用し、フォーマットを行なってください。フォーマットソフトは、下記 SD アソシエーションのホームページから入手できます。
URL : https://www.sdcard.org/jp/downloads/formatter_4/index.html
※フォーマットをすると、microSDHC カードに記録されたデータがすべて消去されます。必ずデータのバックアップを行なってください。

● ビューワソフトについて

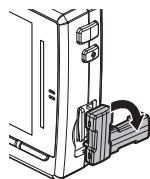
- ・ 専用ビューワソフトは弊社ホームページ (<http://www.e-comtec.co.jp/>) よりダウンロードを行うことができます。

新しい microSDHC カードを使用する場合について

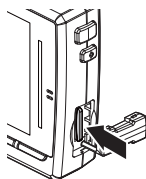
- ・ 新しい microSDHC カードや付属以外の microSDHC カードを使用する際は必ず、本体で SD カードの初期化を行なってください。(⇒ P67)

microSDHC カードの取り出し方について

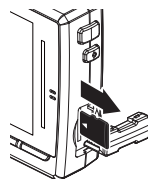
- microSDHC カードを取り出すときは、一度 microSDHC カードを軽く押し込み、少し飛び出してきたら引き抜いてください。また挿入するときは、「カチッ」と音が鳴るまで差し込んでください。
- 駐車監視モード中は P72 を参考に取出してください。



カバーを引き出し、横へ倒す。



microSDHC カードを軽く押し込み、

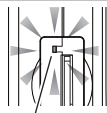


少し飛び出してきたら引き抜く。

※ 挿入する時は逆の手順で行なってください。また必ず液晶側に microSDHC カードのロゴが見えるように挿入してください。逆向きに無理矢理挿入すると破損します。

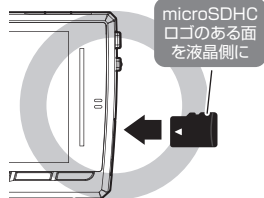
⚠ 注意

- エンジンを ON (車両キースイッチを ACC または ON) にした状態で microSDHC カードの抜き差しを行わないでください。microSDHC カードの破損や録画データの破損の原因となります。必ず、車両キースイッチを OFF 後 microSDHC カードのアクセスランプ (橙) が消灯したことを確認し、microSDHC カードの抜き差しを行ってください。
- microSDHC カードをドライブレコーダー本体・スロットに差し込む際は、向きや挿入方向にお気を付けください。無理に挿入すると、microSDHC カードスロットの破損や microSDHC カード自体の破損の原因となります。
- microSDHC カードを抜く際に、ラジオペンチなどの工具を使用しないでください。microSDHC カード破損の原因となります。
- microSDHC カードの移動や保管する場合は、付属のカードケースの利用をおすすめします。



microSDHC カード
アクセスランプ

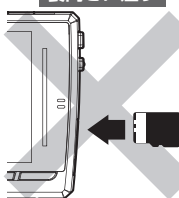
正しい向き



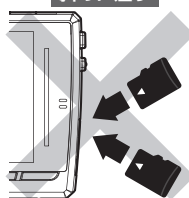
microSDHC
ロゴのある面
を液晶側に

間違い

裏向きに差す



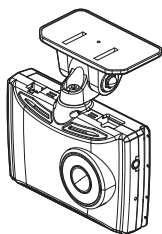
斜めに差す



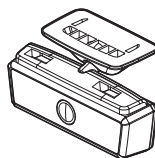
はじめに

梱包内容

HDR-951GW メインカメラ

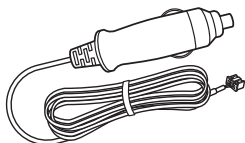


HDR-951GW サブカメラ

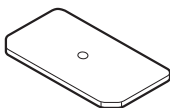


付属品

シガープラグコード
(約4m/1Aヒューズ内蔵)



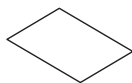
取付ステー
メイン固定用
両面テープ (1 枚)



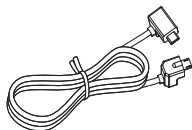
取付ステー
サブ固定用
両面テープ (1 枚)



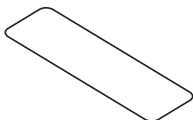
脱脂
クリーナー
(1 枚)



カメラ通信ケーブル (長)
(約 60cm)



ステッカー (1 枚)
(150 × 42mm)



microSDHC カード
(16GB/1 枚)

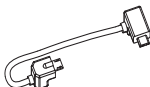


※出荷時本体に
セットされています。

コードクランプ
(5個)



カメラ通信ケーブル (短)
(約 11cm)



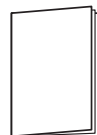
六角レンチ
(ステー角度調整用)
(2.5mm/1 個)



SD カード変換アダプター
(1 枚)



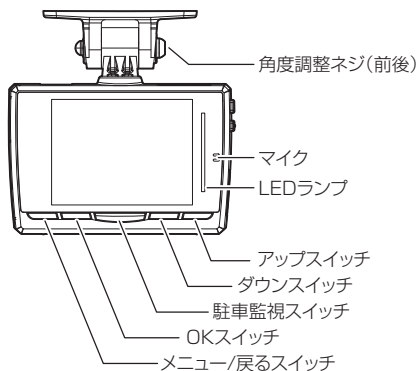
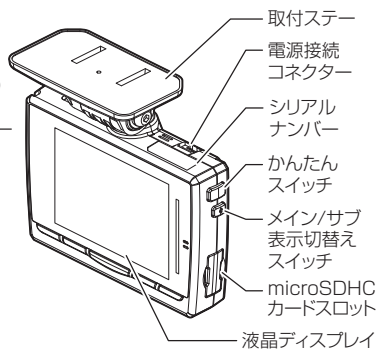
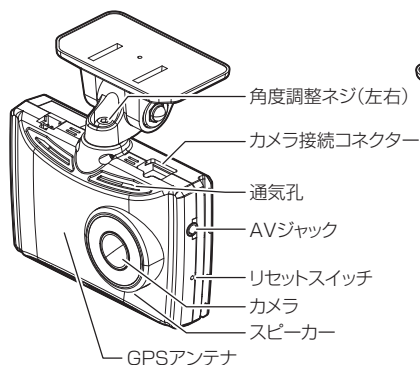
取扱説明書
(本書 / 1 冊)



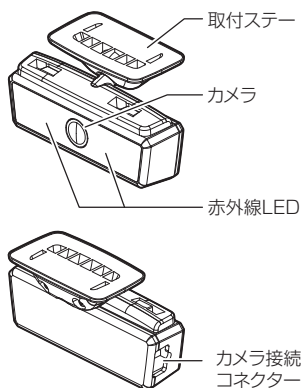
アドバイス

付属品以外の microSDHC カードを使用する際は必ず本体で SD カードの初期化 (⇒ P67) を行なってください。

各部名称



サブカメラ



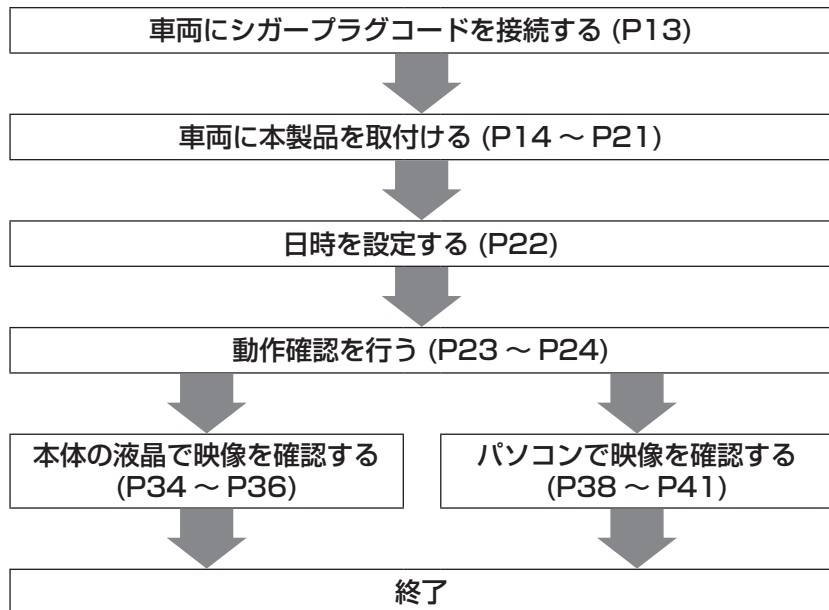
はじめに

別売オプション

品名	使用目的 / 仕様		品番
ステッカー [ドライブレコーダー 搭載車]	サイズ：150(W) × 42(H)/mm 1 枚入り		HDROP-06
ステッカー [駐車監視中]	サイズ：62(W) × 36(H)/mm 2 枚入り ※透明ステッカーに白色印刷タイプ		HDROP-07
microSDHC カード	メモリ容量：8GB / 16GB / 32GB メモリタイプ：MLC スピードクラス：class10	8GB	HDROP-08
		16GB	HDROP-16
		32GB	HDROP-32
AV ケーブル	ドライブレコーダーの映像をナビゲーションなどで表示するためのケーブルです。(ケーブル長：約 2.0 m)		VC-100
駐車監視・ 直接配線コード	対応ドライブレコーダーへ接続することで、車両キースイッチ OFF 後も車両バッテリーから電源供給を行い、録画を行うことができます。また、シガープラグコードや直接配線コードを別途配線する必要はありません。		HDROP-14
直接配線コード	ドライブレコーダー本体の電源を直接車両から取る際に使用します。(ケーブル長：約 4.0 m)		HDROP-15
シガープラグコード	車両シガーソケットから電源を取ることができます。		HDROP-18

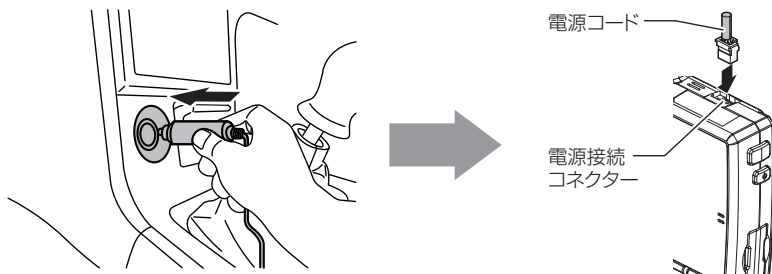
取付手順を確認する

下記手順を参考に取付けを行なってください。



シガープラグコードを接続する

車両シガーソケットに付属のシガープラグコードを差込み、本体の電源接続コネクタに電源コードを差し込んでください。

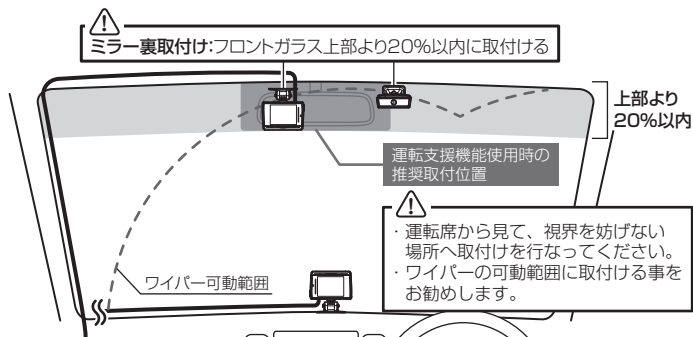


取付方法

本体の取付位置を確認する

本製品はフロントガラス、またはダッシュボードに取付けることができます。保安基準に適合させるため、必ず下図および注意事項を確認の上取付けを行なってください。

運転支援機能を使用する場合、ボンネットを録画映像の下部から 25% 以内に収める必要があるため、フロントガラス上部・中央への取付けを推奨します。(⇒ P54)



⚠ 注意

- ・フロントガラスへの取付けは、道路運送車両法に基づく保安基準により設置場所が限定されています。運転者の視界の妨げにならないように、フロントガラス上部より 20% 以内のルームミラー裏側へ設置してください。その際ミラーと干渉しない位置に取付けしてください。
※道路運送車両の保安基準第 29 条（窓ガラス）、細目告示第 195 条および別添 37
- ・コードクランプなどの貼付けも保安基準違反となるため、絶対に行わないでください。
- ・ダッシュボードへ取付ける場合は、道路運送車両法に基づく保安基準に適合させるため、運転や視界の妨げにならない場所に取付けてください。
※道路運送車両の保安基準第 21 条（運転者席）、細目告示第 27 条および別添 29
- ・ワイパーの可動範囲に取付けることをお勧めします。範囲外に取付けるとフロントガラスの汚れ、雨天時の水滴などにより記録した映像が見づらくなることがあります。
- ・地デジや ETC 等のアンテナ近くには設置しないでください。
- ・衝突被害軽減ブレーキシステムのカメラや防眩ミラーのセンサー等がルームミラー裏側にある場合、車両取扱説明書に記載の禁止エリアを避けて取付けを行うか、ダッシュボードへ取付けを行なってください。
- ・本製品の近くに GPS 機能を持つ製品や VICS 受信機を設置しないでください。誤動作を起こす可能性があります。
- ・本製品を車検シールの上に貼らないでください。
- ・車両のフロントガラスや本製品のカメラ部分に汚れがあると、十分な映像が記録できない可能性があります。
- ・本体の取付位置（フロントガラスまたはダッシュボード）により衝撃の伝わりやすさは異なるため、取付位置を変更した場合は必ず G センサー設定を見直してください。
- ・メインカメラ側に遮蔽物があると GPS 衛星からの電波が受信できなくなります。取付位置には十分注意してください。

本体を取付ける

メインカメラ位置決め（仮固定）

※ 本書ではフロントガラスへの取付けを例に説明を行います。

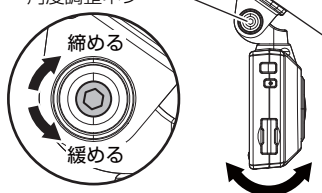
取
付
け

- 1) スターの角度調整ネジを緩めた状態で仮固定し、本体の取付角度を調整します。調整後にネジを締めます。

- ・ 本体スター部をフロントガラスに仮あてし、液晶の映像を確認しながら本体が地面と垂直になるように角度を調整してください。
- ・ 角度調整を容易に行うため、取付スターをフロントガラスへ貼り付ける前に角度調整を行なってください。

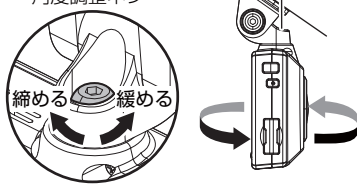
■前後の調整

角度調整ネジ



■左右の調整

角度調整ネジ



⚠ 注意

- ・ 必ず角度調整ネジを緩めた状態で角度調整を行なってください。破損の原因となります。
- ・ 角度調整後は角度調整ネジを確実に締めてください。緩いと走行中に外れる恐れがあります。
- ・ 角度調整ネジを強く締めすぎると破損する恐れがありますのでご注意ください。
- ・ 定期的にネジの緩みがないか点検を行なってください。

液晶の映像を確認しながら角度調整を行なっている際も、常時録画データやイベント録画データの記録を行なっているため、ご注意ください。

👉 アドバイス

- ・ 液晶表示が消えた場合、【メニュー / 戻る】スイッチを短押しすることで 30 秒間液晶が再表示されます。（液晶表示が速度連動で走行中は除く）（⇒ P65）
- ・ 撮影した映像が暗い場合はカメラ輝度調整の設定を変更するか、本製品を少し下向きになるように角度を調節してください。
- ・ カメラレンズに触れてしまうとレンズが曇り、映像の焦点がズレてしまいますので、取付ける際はレンズに触れないようご注意ください。
- ・ 広角レンズを採用しているため、スター取付角度によって、画面両端上に取付スターが映り込む事があります。あらかじめご了承ください。

取付方法

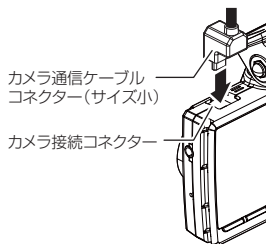
サブカメラ位置決め（仮固定）

サブカメラをフロントガラスに貼り付ける際は、本体取付時の注意事項（⇒P14～P17）も参考にしてください。

※ 本書ではフロントガラスへの取付けを例に説明を行います。

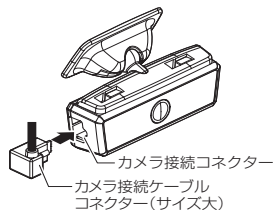
- 1) 本体のカメラ接続コネクタに付属のカメラ通信ケーブル[長](約60cm)のコネクタ（サイズ小）を接続します。

※コネクタには向きがあるため、無理に差し込むと破損します。



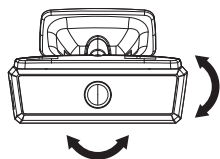
- 2) サブカメラのカメラ接続コネクタにカメラ通信ケーブル[長]のコネクタ（サイズ大）を接続します。

※コネクタには向きがあるため、無理に差し込むと破損します。



- 3) サブカメラを仮固定し、サブカメラの取付角度を調整します。

- ・仮固定する際は、市販の粘着力の弱いテープなどを使用してください
- ・ステー部をフロントガラスに仮あてし、液晶の映像を確認しながらサブカメラの貼付け位置と角度を調整してください。

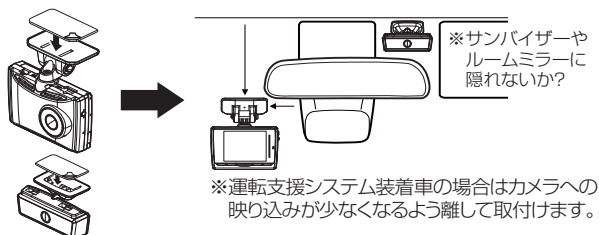


👉 アドバイス

- ・録画画面の表示は「メイン/サブ表示切替えスイッチ」を押すたびに、メインカメラ映像、サブカメラ映像、2画面表示が切替わります。（⇒P33）
- ・カメラ通信ケーブルを接続していないと、起動時にブザー音とメッセージ画面でお知らせします。また、「メイン/サブ表示切替えスイッチ」を押しても表示はメイン画面から切り替わりません。

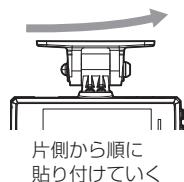


- 4) 位置が決まったら貼付け位置をテープ等でマーキングし取り外します。付属の脱脂クリーナーで取付ステーおよびフロントガラスを清掃し、よく乾かした後、取付ステーに両面テープを貼付け、フロントガラスに貼付けます。

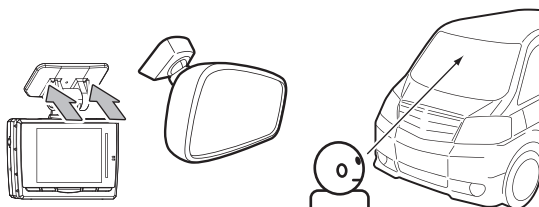


アドバイス

- ・ステアを貼付ける際は片側から順に少しずつ貼り付けると、空気が入りにくくきれいに貼れます。
※一度に貼り付けると空気が入りやすくなり、ステアが剥がれやすくなります。空気が残ってしまった場合は、中心の穴から空気を抜いてください



- ・貼付面裏側のステア部を手でしっかり押さえて貼付けムラがないようにしてください。また貼付後に、車外から貼付面にムラがないことを確認してください。



ステア貼付け面を裏側から押さえる。

車外から貼付け面にムラがないことを確認する。

◇ステア貼付け面



⚠ 注意

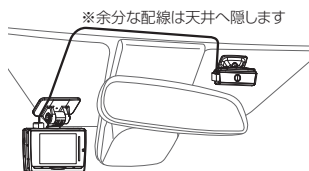
サブカメラは車内向け専用のカメラです。カメラを車両前向きに取付けるなど車外に向けて撮影を行わないでください。

取付方法

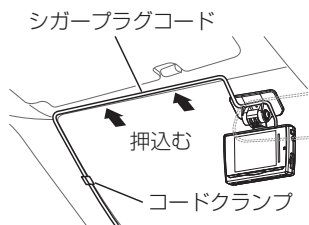
剥がれの原因になるため下記内容を必ずご確認ください。

- ・必ず付属のクリーナーで貼付け面および取付ステーの汚れ（油分・水滴など）をキレイにし、乾いてから取付けを行なってください。パーツクリーナー、ガラスクリーナー等は絶対に使用しないでください。剥がれの原因となります。
- ・サンシェード等の日除けを使用する際は、本体をフロントガラスとサンシェードの間に挟み込まないようにしてください。熱がこもりやすくなるため、両面テープ剥がれの原因となります。
- ・極端に気温が低い場合、両面テープの粘着が弱くなります。ドライヤーなどで粘着面を暖めてから貼付けをしてください。また、製品に直接ドライヤーの熱が当たらないよう注意してください。
- ・一度貼付けた両面テープは粘着力が弱くなりますので再使用しないでください。
- ・取付け後両面テープがしっかり貼付くまで引っ張ったり無理な力を掛けないように注意してください。剥がれの原因となります。
- ・両面テープの中央部が貼り付いていない場合など、両面テープ全体がフロントガラスまたはダッシュボードに貼り付いていないと剥がれることがあります。

- 5) メインカメラとサブカメラを接続しているカメラ通信ケーブルの取り回しを行なってください。



- 6) シガープラグコードの配線の取回しを行なってください。



👉 アドバイス

- ・運転の妨げにならないように、付属のコードクランプを使用し、配線の取回しを行なってください。
- ・地デジやETC等のコードと一緒に束ねないようにしてください。地デジやETC等の受信感度が低下する恐れがあります。

ダッシュボードに取付ける場合

本製品は内蔵の G センサーにより自動で上下を判別し、液晶表示が反転します。

フロントガラス取付けの場合



ダッシュボード取付けの場合

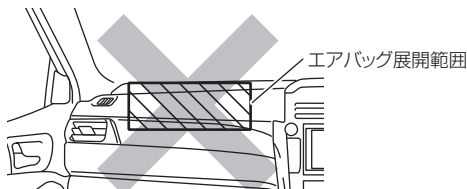


アドバイス

- ・画面の上下方向は起動時に判別しているため、使用中に本体を反転しても画面は反転しません。その場合は、再起動を行なってからご使用ください。
- ・サブカメラの上下反転は、設定で変更することができます。(⇒ P61)

⚠ 注意

- ・自動車の機能の妨げになる場所やエアバッグの展開範囲には取付けないでください。エアバッグ作動時に本製品が乗員に当たる恐れがあります。



- ・ダッシュボードの形状や素材によっては貼付きにくい場合があります。また、経年劣化等により両面テープを剥がす際に貼付面が破損する恐れがありますのでご注意ください。そのようなことが予想される場合、ルームミラー裏側フロントガラスへ取付けを行なってください。

ダッシュボードへの取付けはダッシュボードの熱が伝わり、『高温注意 本体温度が下がるまで録画を停止します』のメッセージ表示がフロントガラスへの取付けに比べ出やすくなります。頻繁に表示される場合はフロントガラスへの取付けをおすすめします。
※メッセージ表示中は録画を行いません。本体温度が下がるまでお待ちください。

高温注意

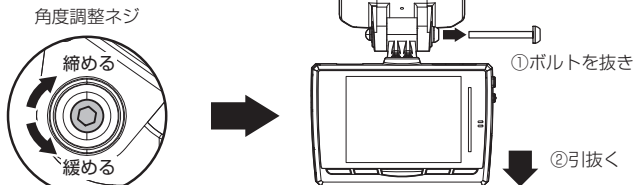
本体温度が下がるまで
録画を停止します

取付方法

本体を取外す

角度調整ネジを緩めて、本体を引抜き取外します。

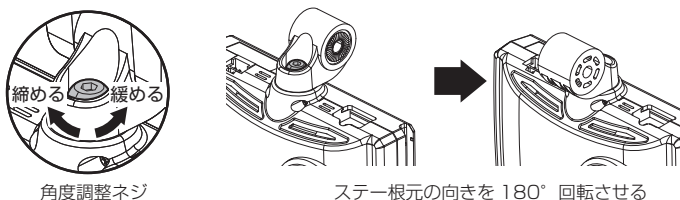
■フロントガラス取外し例



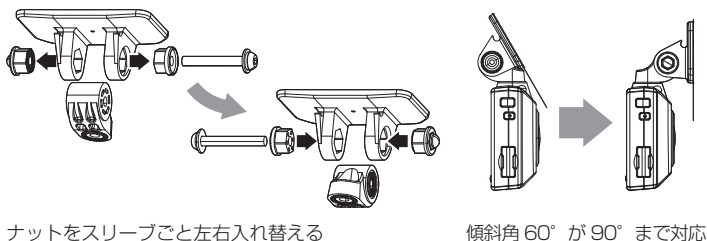
※外す際に部品の落下紛失に注意してください

ステーの向きを変更する（トラック・バスなどの場合）

1) ステー軸を 180° 回転します。



2) 取付ナットの位置を入れ替えます

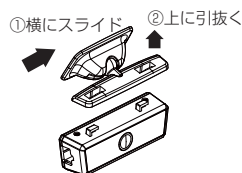


⚠ 注意

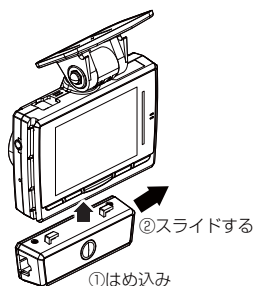
- ・必ず角度調整ネジを緩めた状態で取外してください。破損の原因となります。
- ・再度取付後は六角レンチで角度調整ネジを確実に締めてください。緩いと走行中に外れる恐れがあります。
- ・角度調整ネジを強く締めすぎると破損する恐れがありますのでご注意ください。
- ・定期的にネジの緩みがないか点検を行なってください。

サブカメラをメインカメラに取り付ける

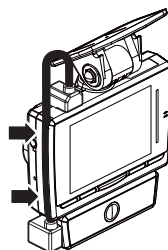
- 1) ステアを横にスライドしサブカメラから取外します。



- 2) メインカメラ下側に横にスライドしサブカメラを取付します。



- 3) 各カメラ接続コネクタにカメラ通信ケーブル[短]約11cm(⇒P16 参照)を接続し、配線を溝にはめ込みます。



アドバイス

- ・サブカメラの向きは固定されますので、本体を水平にし取付位置を車体中央付近に取付けることをお勧めします。
- ・サブカメラがルームミラーに隠れない位置でフロントガラスに貼付けます。

取付方法

日時を設定する

車両に本体を取付けた後に日時設定を行なってください。

※ GPS 衛星を受信すると自動的に日時を設定します。

※ 本製品は日時情報を保持するために本体内部にバッテリーを搭載しています。内蔵バッテリーが消耗すると日時情報がリセットされ、起動時にメッセージ画面とブザー音でお知らせします。その場合正確な日時で映像が記録できなくなるため、必ず日時を設定し直してください。

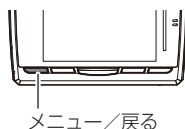
👉 アドバイス

GPS 衛星が受信しにくい場所では、あらかじめ手動で日時を設定することをおすすめします。

設定方法

- 1) 【メニュー/戻る】を**長押し**し、
[メインメニュー]を表示する。

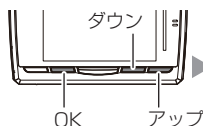
※ 60 秒間スイッチ操作を行わない
と録画画面に戻ります。



メインメニュー

録画・録音設定
機能設定
運転支援機能設定
駐車監視設定
再生

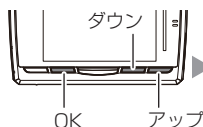
- 2) 【アップ】【ダウン】を押し[機能設定]
を選択し【OK】を押す。



メインメニュー

録画・録音設定
機能設定
運転支援機能設定
駐車監視設定
再生

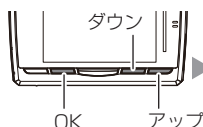
- 3) 【アップ】【ダウン】を押し[日時設定]
を選択し、【OK】を押す。



機能設定

Gセンサー
日時設定
タイムスタンプ
緊急録画停止
かんたんスイッチ

- 4) 【アップ】【ダウン】で設定し、
【OK】で次の項目に移動しま
す。内容を変更後、「設定」で
【OK】を押して決定します。



日時設定

2018/12/01
12:23:34
設定

動作を確認する

1.GPS の受信を確認する

車両キースイッチを ON にし、本体起動後、GPS アイコンが灰色から白色に変わり速度が表示されることを確認してください。

※ GPS の受信には数十秒～数分かかる場合があります。



取付け

アイコン	表示内容
	GPS を受信時に表示
	GPS を未受信時に表示

👉 アドバイス

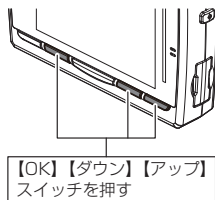
下記のような場所では、GPS を受信することができず、GPS アイコンの表示および速度の表示がされません。（トンネル・地下道・建物の中・ビルなどに囲まれた場所・鉄道や道路の高架下・木々の多い森の中など）その場合、場所を移動してから確認を行なってください。

取付方法

2. マニュアル録画の動作を確認する

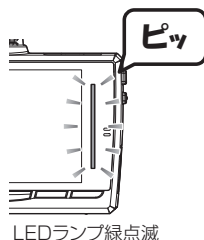
- 1) LED ランプが緑点灯している時に、ラジオやオーディオを鳴らした状態で、**【OK】****【ダウン】****【アップ】** スイッチのいずれかを押してください。

※かんたんスイッチの設定を [録画] に設定している場合、かんたんスイッチでもマニュアル録画を行うことができます。(⇒ P64)



- 2) 『ピッ』と音が鳴り、LED ランプが緑点滅を始め、音声および録画データを記録します。

※音声は自動で録音されます。



👉 アドバイス

お買い上げ時の録音設定は [ON (大)] になっています。設定で OFF にすることもできます。(⇒ P59)

3. 記録した映像を確認する

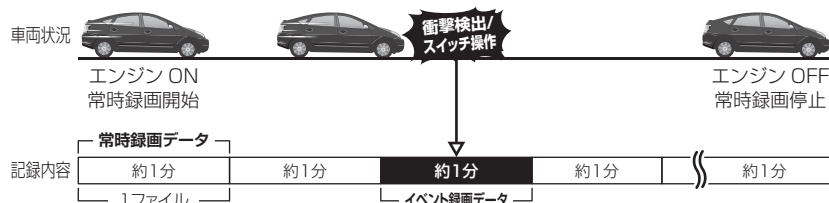
本体で記録した映像を確認してください。(⇒ P34)

《確認内容》

- ・『常時録画』内に電源 ON から電源 OFF までの映像が正常に記録されていること
- ・『マニュアル録画』内にスイッチ操作で記録した映像が正常に記録されていること
- ・録画データに音声録音されていること
- ・【メイン / サブ表示切替え】スイッチを押して、サブカメラの映像が記録されていること

映像の記録について

本製品の記録方法は「常時録画」と「イベント録画」があります。



事故発生時の衝撃が弱い場合、衝撃による映像の記録ができない場合があります。その際は常時録画の映像をご確認ください。

アドバイス

- ・お買い上げ時の設定では、microSDHC カードの容量がいっぱいになると、常時録画、イベント録画それぞれの録画領域の古いデータから上書きして新しいデータを記録します。設定により上書き時の動作を変更することができます。(⇒ P60)
- ・本体起動直後や録画データの記録直後にスイッチ操作や衝撃を検出すると、記録されないことがあります。
- ・スイッチ操作または衝撃による録画データの保存中は、スイッチ操作や衝撃を検出しても、新しく記録することはできません。
- ・LED ランプが橙点灯または橙点滅している場合は、映像を記録することはできません。設定を終了させるか、メッセージを解除してください。
- ・本製品は、重大な事故などで電源が遮断された場合でも記録中の録画データの破損を防ぎ保存を行う、バックアップ機能を搭載しています。

常時録画について

- ・エンジンを ON (車両キースイッチを ACC または ON) にした後からエンジンを OFF (車両キースイッチを OFF) にするまでを、常時録画データとして microSDHC カードに自動で記録を続けます。
- ・お買い上げ時の設定では記録上限に達した場合、古い映像から順に消去し、新しい映像の記録を続けます。

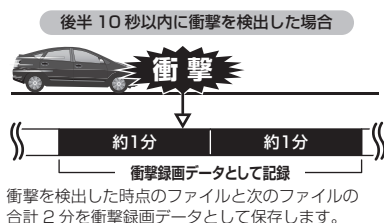
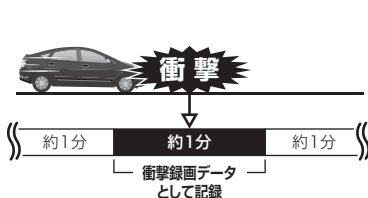
映像を撮る

イベント録画について

- ・ イベント録画には衝撃を検出した時点のファイルを記録する『衝撃録画データ』、スイッチ操作した時点のファイルを記録する『マニュアル録画データ』、駐車中の衝撃を検出した時点のファイルを記録する『駐車監視衝撃録画データ』の3種類があります。
- ・ お買い上げ時の設定では記録上限に達した場合、古い映像から順に消去し、新しい映像の記録を続けます。
- ・ [上書き禁止] 設定を変更することにより、古い映像を消去せず、記録を停止することもできます。(⇒ P60)

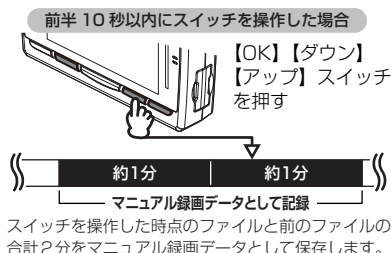
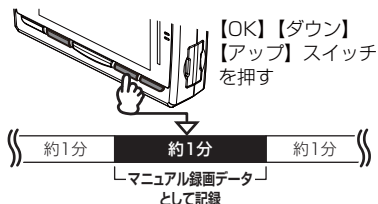
■ 衝撃録画データ

- ・ 本製品内蔵の G センサーが設定値以上の衝撃を検出すると、衝撃を検出した時点のファイルを『衝撃録画データ』として記録します。
- ・ ただし 1 ファイルの前半 10 秒以内または後半 10 秒以内に、衝撃を検出した場合、前もしくは後のデータも『衝撃録画データ』として記録されます。
- ・ G センサーの感度は設定により前後・左右・上下それぞれ 0.1G 単位で感度調整することができます。(⇒ P62)



■マニュアル録画データ

- ・本製品のスイッチ（【OK】【ダウン】【アップ】スイッチ）を押すと、スイッチを操作した時点のファイルを『マニュアル録画データ』として記録します。
- ・ただし 1 ファイルの前半 10 秒以内または後半 10 秒以内に、スイッチを操作した場合、前もしくは後のデータも『マニュアル録画データ』として記録されます。

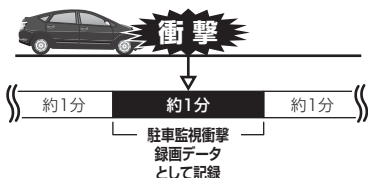


映像を撮る

■駐車監視衝撃録画データ

- ・駐車監視モード中に本製品内蔵の G センサーが設定値以上の衝撃を検出すると、衝撃を検出した時点のファイルを『駐車監視衝撃録画データ』として記録します。
- ・ただし駐車監視録画方式の設定により保存方法が以下のように変わります。
 [衝撃] 衝撃検知前 5 秒から 1 分間保存
 [常時・衝撃] 『衝撃録画データ』と同様に保存
 [タイムラプス] 衝撃録画は行いません。
- ・駐車監視モード中の G センサーの感度は設定により [高 / 中 / 低] の 3 段階で感度調整することができます。(⇒ P74)

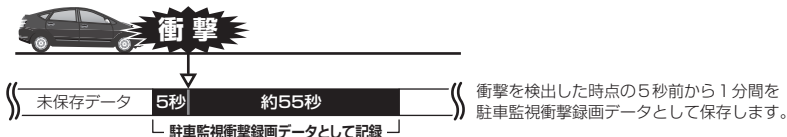
◆常時・衝撃に設定した場合



後半 10 秒以内に衝撃を検出した場合



◆衝撃に設定した場合



映像を撮る

microSDHC カードの容量による記録時間の目安

記録時間は microSDHC カードの容量、録画サイズ設定、画質設定により変動します。下記表を参考にしてください。（下記表はメインカメラとサブカメラの常時録画およびイベント録画を含めた時間です）

※ 対応 microSDHC カード：8GB ～ 32GB（class10 推奨）

※ 本製品付属 microSDHC カード：16GB（class10）

録画サイズ	画質	microSDHC カード容量		
		8GB	16GB	32GB
FullHD（注1）	高画質	約 40 分	約 80 分	約 160 分
	低画質	約 65 分	約 135 分	約 270 分
HD	高画質	約 55 分	約 115 分	約 230 分
	低画質	約 100 分	約 200 分	約 400 分
SD	高画質	約 175 分	約 350 分	約 700 分
	低画質	約 285 分	約 570 分	約 1140 分

※（注1）サブカメラの録画サイズは【HD】になります。

※ 本製品の初期設定は録画サイズが【HD】、画質が【高画質】 イベント録画領域が【20%】 駐車監視録画割合が【5%】に設定されています。

※ 上記の記録時間はあくまで初期設定での参考値です。設定により記録時間は異なります。

※ 市販の microSDHC カードを使用する場合は、必ず本体で動作することを確認の上、ご使用ください。なお、動作や保存などの保証は致しかねますので、あらかじめご了承ください。

※ 使用する microSDHC カードによっては上記録画時間と異なる場合があります。

初期設定の記録件数の目安

初期設定値【HD・高画質・録画領域 20%・駐車監視録画割合 5%】の場合（メインカメラとサブカメラそれぞれ合計 120 件記録した場合）

容量	常時録画	イベント録画	駐車監視 常時録画	駐車監視 衝撃録画
メインカメラ	92 件	23 件	3 件	2 件
サブカメラ	92 件	23 件	3 件	2 件

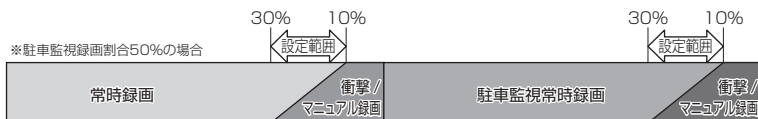
※ 駐車監視録画の最低録画件数は 5 件、うち駐車監視衝撃録画は 2 件となります。

⚠ 注意

- ・付属品以外の microSDHC カードを使用する際は必ず本体で SD カードの初期化（⇒ P67）を行なってください。
- ・microSDHC カードは消耗品であり、1 日 2 時間程度使用する場合で約 1 ～ 2 年を目安に交換することをお勧めします。
- ・microSDHC カードの性質上、書き込み可能回数など製品寿命があります。
- ・付属品以外の microSDHC カードの動作保証は致しかねます。

録画領域について

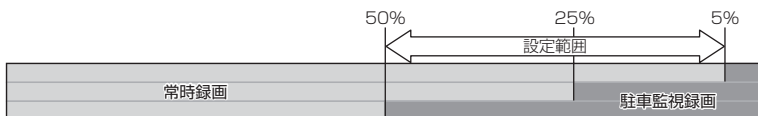
- ・お買い上げ時の設定では microSDHC カード全体の 80% を常時録画、20% をイベント録画の領域として設定されています。
- ・設定によりイベント録画のデータ保存容量の割合を [10% / 20% / 30%] から選択することができます。(⇒ P59)
- ・イベント録画領域の設定を変更すると、常時録画と駐車監視常時録画の保存容量の割合は連動して変更されます。



- ※ 衝撃 / マニュアル録画データがない場合は 100%常時録画を記録します。
- ※ 録画領域を変更すると、SD カードの初期化を行うため変更前に記録されたすべてのデータが消去されます。

駐車監視録画割合について

- ・お買い上げ時の設定では microSDHC カード全体の 95% を常時録画、5% を駐車監視録画の割合として設定されています。
- ・設定により駐車監視録画のデータ保存容量の割合を [5% / 25% / 50%] から選択することができます。(⇒ P73)
- ・録画割合の設定を変更すると、常時録画の保存容量の割合も連動して変更されます。



- ※ 駐車監視録画割合を変更する場合、SD カードの初期化が必要となり、記録されたデータがすべて消去されます。変更する場合は必要に応じてパソコンなどへのバックアップを行ってから設定を変更してください。
- ※ 駐車監視録画データがない場合でも常時録画の記録できる時間は変わりません。
- ※ 駐車監視モード設定を ON に切替えると自動で 50%に変更されます。

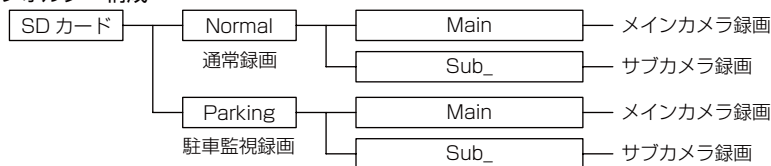
映像を撮る

保存先フォルダー名・ファイル名について

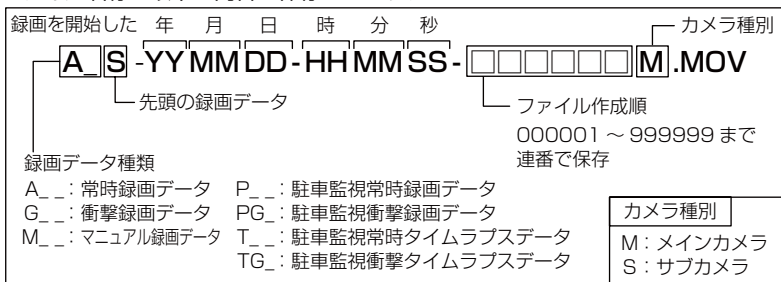
本製品が microSDHC カードに記録したデータは、各項目ごとのフォルダーへ録画を開始した日付・録画データの種類をもとにしたファイル名で保存されます。

フォルダーやファイルの変更または削除を行うと、SD カードの初期化が必要となり、全ての動画が削除されますのでご注意ください。

●フォルダー構成



●ファイル名称は以下の内容で保存されます。



例) 2018/04/18 17:23:45 に常時録画を開始した場合 (メインカメラ)

Main — A_S-180418-172345-000001M.MOV
A_-180418-172445-000002M.MOV
A_-180418-172545-000003M.MOV
⋮

※サブカメラが未接続など正常に録画ができなかった場合、Sub_ フォルダー内に DMY ファイルとして生成されます。

例) A_-180401-150418-000123S.DMY

👉 アドバイス

録画ファイルの上限について

- ・本製品は microSDHC カードに録画できるファイル数がメインとサブそれぞれ約 1200 ファイル、録画時間の上限は約 20 時間となります。また、microSDHC カードの容量や録画サイズにかかわらず上記時間が最大となります。
- ・使用する microSDHC カードによっては上限が異なる場合があります。

映像を撮る

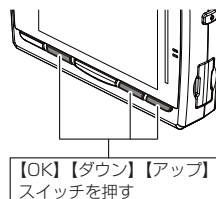
録画面面



アイコン	表示内容
① Full HD SD	録画サイズの設定を表示 (⇒ P59)
② Hi Lo	画質の設定を表示 (⇒ P59)
③ HDR WDR	メインカメラの画像補正の設定を表示 (⇒ P60)
④ REC	作動状態を表示
⑤ G M P PG	録画種類 (衝撃 / マニュアル / 駐車常時 / 駐車衝撃) を表示
⑥ GPS	GPS の受信状態を表示
⑦ Lock	上書き禁止の設定内容を表示 (⇒ P60)
⑧ Audio	音声録音の設定内容 (ON 大 / ON 小 / OFF) を表示 (⇒ P59)

■ マニュアル録画

- ・録画中に本製品のスイッチ【OK】【ダウン】【アップ】のいずれかを押すと、『マニュアル録画データ』として記録を行います。
- ・設定を変更することにより、【かんたんスイッチ】でもマニュアル録画を行うことができます。(⇒ P64)



■液晶表示の切替えについて

録画面面の表示は「メイン/サブ表示切替えスイッチ」を押すたびに、メインカメラの映像とサブカメラの映像が切替わります。

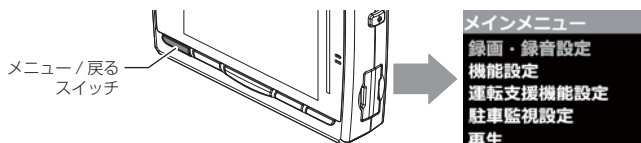


- ・サブカメラを接続していないと映像は切替わりません。
- ・液晶表示を時計に設定した場合は映像は切替わりません。
- ・録画サイズを FullHD に設定していても、サブカメラの録画サイズは HD になります。

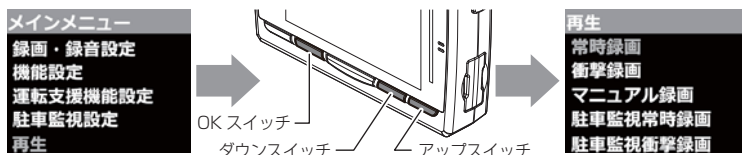
映像を見る

本体で映像を再生する

1. 【メニュー/戻る】を**長押し**し、メインメニューを表示する

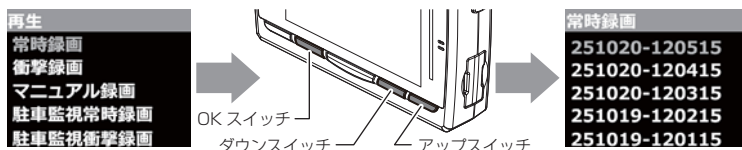


2. [再生]を【アップ】【ダウン】で選択し、【OK】を押す



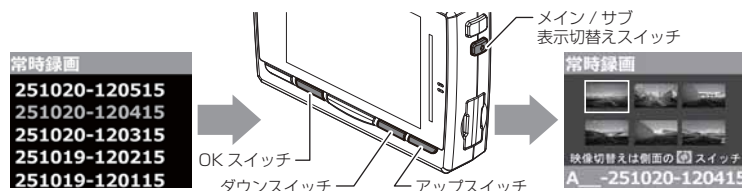
3. 映像の種類を【アップ】【ダウン】で選択し、【OK】を押す

- ・[常時録画]..... 常時録画データを表示（駐車監視録画データは除く）
- ・[衝撃録画]..... 衝撃検出による録画データを表示
- ・[マニュアル録画]..... スイッチ操作による録画データを表示
- ・[駐車監視常時録画]..... 駐車監視中の常時録画データを表示
- ・[駐車監視衝撃録画]..... 駐車監視中に衝撃検出による録画データを表示



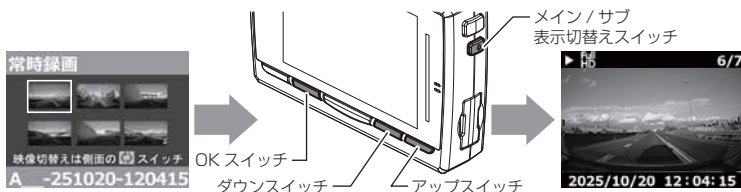
4. 見たいフォルダーを【アップ】【ダウン】で選択し、【OK】を押す

※フォルダー名称、ファイル名称に関しては P30 をご参照ください。



5. 見たいファイルを【アップ】【ダウン】で選択し、【OK】を押すと映像の再生が始まります

※再生中に映像メイン/サブ切替えスイッチを押すとメインカメラとサブカメラの映像が切り替わり見ているファイルの先頭から再生を行います。



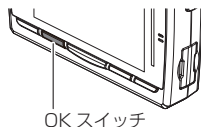
6. 再生終了後は【メニュー/戻る】を押し、設定画面から抜けることで録画面に戻ります。

※かんたんスイッチを押すことで録画面へ戻ることもできます。

👉 アドバイス

映像の一時停止 / 早送り

- ・映像の再生中に【OK】を短押しすると、再生中の映像が一時停止します。再度【OK】を短押しすると映像の再生が再開されます。
- ・映像再生中に【OK】を長押しすると、再生中の映像を早送りすることができます。早送りを解除するには【OK】の短押しで一時停止 / 再生を行なってください。



かんたん再生機能

- ・本製品のかんたんスイッチを押すことで、最後に撮影した映像を設定メニューに入らずに再生することができます。
- ・再生画面や設定画面中にかんたんスイッチを押すと録画面に戻ります。
- ※かんたんスイッチの機能は設定で変更することができます。(⇒ P64)
- ※パスワードを設定していると「パスワード設定中です」と表示されて再生できません。かんたん再生機能を使用する場合はパスワードを解除してください。(⇒ P66)



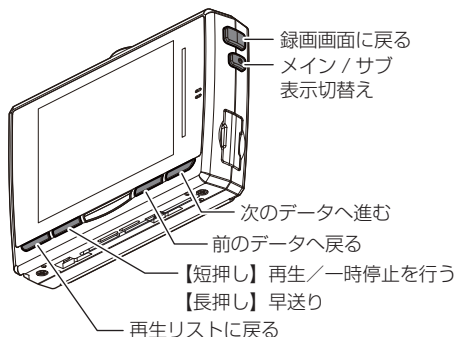
映像を見る

再生画面



	アイコン	表示内容
①		動作状態（再生 / 一時停止 / 早送り）を表示
②		録画サイズの設定を表示（⇒ P59）
③		録画種類（衝撃 / マニュアル / 駐車常時 / 駐車衝撃）を表示

再生画面での操作



再生画面ではメインカメラの映像とサブカメラの映像を同時に表示することはできません。1 画面ずつの切替表示となります。また、切替後はそのファイルの先頭から再生を開始します。

ナビゲーションで映像を再生する

本製品をビデオ入力端子を備えたナビゲーションや車載モニターと別売オプションの AV ケーブルで接続することで、本体の液晶表示をナビゲーションや車載モニターに表示させることができます。

※ AV ケーブルを接続し車載モニターなどへ映像を出力した場合は、液晶表示設定 (⇒ P65) の設定内容にかかわらず車載モニターなどへ映像を表示します。

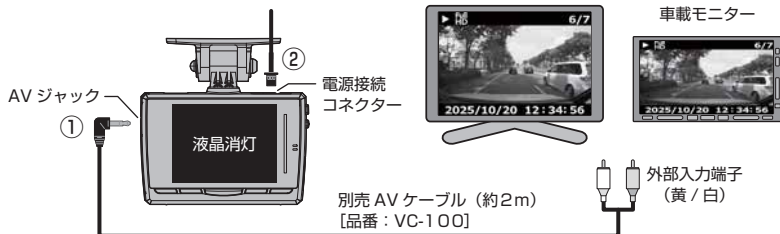
⚠ 注意

電源が ON の状態で AV ケーブルの抜差しを行わないでください。起動中に行くと本体が再起動するなど、動作が不安定になります。必ず、電源 OFF 後 LED ランプが消灯したことを確認してから AV ケーブルの抜差しを行ってください。

映像再生方法

■接続概要図

付属シガープラグコード (約 4m) で電源に接続



映像を見る

■再生方法

- 1) 別売 AV ケーブル (品番: VC-100) を本体のテレビ接続端子へ接続します。(上図 ①)
- 2) 付属シガープラグコードや別売直接配線コードなどを本体の電源接続コネクタに接続します。(上図 ②)
- 3) P34,35 の手順に従い、記録した映像を再生してください。
(接続したモニターへ映像が表示されます。※本体液晶画面の表示は行いません)

市販の AV ケーブルを使用する場合

本製品で使用出来る AV ケーブルの 4 極ミニプラグ端子の仕様は、下記のイラストのようになっています。

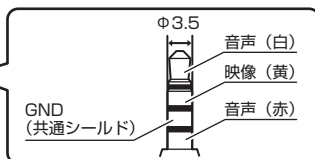
使用する際は必ず、下記仕様に沿った AV ケーブルを使用してください。

RCA 端子



4 極ミニプラグ端子

※本製品はモノラル音声のため、
音声 (赤) は使用しません。



映像を見る

パソコンで映像を再生する

本製品で録画した映像は、弊社ホームページの専用ビューワソフトを使用することで、2画面の映像を同時に再生したり加速度などの情報と併せて映像を見ることができます。

また録画データは MOV ファイルで保存されているので、Windows Media Player などで再生することができます。

アドバイス

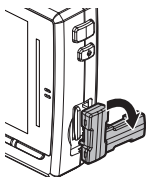
- ・ビューワソフトを使用する際は、下記に対応するパソコンのスペックを推奨します。
OS: 日本語版 Windows 7 / 8.1 / 10
CPU: Core i3 プロセッサ 1.9GHz 同等以上を推奨
メモリー: 4GB 以上を推奨
画像解像度: FWXGA (1366 × 768 ピクセル) 以上を推奨
- ※ Internet Explorer がインストールされていないと正常に動作しないことがあります。
- ・ビューワソフトは弊社ホームページ (<http://www.e-comtec.co.jp/>) よりダウンロードすることができます。また、パソコンの OS アップデートによりビューワソフトが正常に動作しなくなった場合は弊社ホームページより最新版のビューワソフトをダウンロードし、お試しください。
※最新版のビューワソフトが公開されている場合、ビューワソフト起動時に更新のお知らせが表示されます。(インターネット接続時のみ)

ビューワソフトを使用する前に

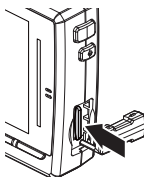
- 1) 車両キースイッチを OFF 後、microSDHC カードカバーを開け、microSDHC カードのアクセスランプ(橙)が消灯したことを確認し、microSDHC カードを取り出します。

※駐車監視モード中は P72 を参考に取出してください。

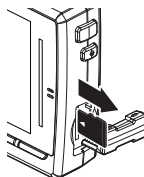
- ・ microSDHC カードを取り出すときは、一度 microSDHC カードを軽く押し込み、少し飛び出してきたら引き抜いてください。
- ・ 挿入するときは、「カチッ」と音が鳴るまで差し込んでください。
- ・ アクセスランプ点灯中に引き抜くと録画データが破損し、ビューワソフトが起動しなくなります。その場合、パソコンで最後の動画(破損データ)を削除してください。



カバーを引き出し、横へ倒す。



microSDHC カードを軽く押し込み、



少し飛び出してきたら引き抜く。

2) カードリーダーなどを使用し、パソコンへ挿入します。

※ microSDHC カードに対応していないカードリーダーの場合、パソコンがカードを認識できません。



⚠ 注意

- ・microSDHC カードを取り出す際はエアコン吹出し口等に落とさないように気を付けてください。
- ・microSDHC カード内に本機以外のデータを入れないでください。データが正常に読み取れなくなるとビューソフトが起動しなくなります。

3) 弊社ホームページ (<http://www.e-comtec.co.jp/>) よりビューソフトをダウンロードします。

HDRviewerW.zip
(ダウンロードしたファイル)

👉 アドバイス

microSDHC のカード内のビューソフトダウンロードページショートカットファイル [Viewer_download] をクリックすると簡単にページを開けます。

ビューソフトダウンロードページ

(http://www.e-comtec.co.jp/O_recorder/viewer/HDRviewerW/viewer.html)

4) ダウンロードしたファイルを展開します。



HDRviewerW.zip
(ダウンロードしたファイル)



HDRviewerW フォルダー
(展開してできたフォルダー)

映像を見る

- 5) 4) で展開したフォルダー内にあるビューワソフト [HDRviewerW.exe] をクリックし、ビューワソフトを起動します。



- 6) ⑩フォルダリストから再生したいフォルダを選び【再生】ボタンを押すと映像が再生されます。

再生画面



アドバイス

- ・ビューワソフト起動時、本製品のファームウェアの更新データがある場合、更新のお知らせが表示されます。(インターネット接続時のみ) その際は画面表示および弊社ホームページの手順に従い、ファームウェアの更新を行ってください。
- ・映像の再生中に microSDHC カードをパソコンから取り出すとビューワソフトが正常に終了しなくなります。必ずビューワソフトを終了させてから microSDHC カードの取り出しを行ってください。

①	メインカメラ撮影動画を表示 ダブルクリックするとフルスクリーンモードで映像を表示し、再度ダブルクリックすると通常表示に戻る	⑮	【先頭】 ボタン 現在再生中の動画の最初に戻る	
②	現在の再生位置を表示	⑯	【前】 ボタン 現在再生中の 1 つ前のファイルに戻る	
③	加速度を数値で表示。 またチェックボックスの ON/OFF で加速度グラフへの表示 / 非表示を選択	⑳	【再生 / 一時停止】 ボタン 再生を始める ※再生中は一時停止ボタンに切替わる	
④	再生データの録画日時を表示			
⑤	録画サイズおよび画質の設定内容を表示	㉑	【スロー】 ボタン 再生速度を 1/2 にする ※早送りボタンで通常再生に戻ります	
⑥	録画データの録音設定内容を表示			
⑦	GPS の受信状態を表示		㉒	【早送り】 ボタン 早送り再生を行う ※再度押すと 2 倍速から 4 倍速に切替え スロー再生で通常再生に戻ります
⑧	自車の走行速度を表示 ※ GPS 受信時のみ表示	㉓	【次】 ボタン 現在再生中の 1 つ次のファイルに進む	
⑨	加速度グラフおよび各種検出アイコンを表示 緑線.....前後の加速度 (X 軸) 赤線.....左右の加速度 (Y 軸) 紫線.....上下の加速度 (Z 軸) 【G】.....衝撃を検出した場所 【M】.....スイッチ操作を検出した場所 【P】.....駐車監視中に衝撃を検出した場所 【▲】.....急加速を検出した場所 【▼】.....急減速を検出した場所 【★】.....急ハンドルを検出した場所 【※】.....緊急録画停止を検出した場所 ※車速アラーム設定で選択した速度を超過した区間を赤に色付け※ GPS 受信時のみ表示	㉔	【静止画】 ボタン 押した時点の映像を静止画 (jpeg) で 1 枚のみ保存する	
		㉕	【動画】 ボタン 選択した録画データを結合し、1 つのファイルとして保存する	
		㉖	【拡大】 ボタン ボタンを押すと拡大モードに移行し、画面をクリックした部分を 2 倍または 3 倍に拡大する ※画面をクリックするたびに切替え ※再度ボタンを押すと拡大モードを終了する	
		㉗	【参照】 ボタン 録画データの参照先を変更する	
		㉘	【削除】 ボタン ファイルリストで選択したデータを削除する	
⑩	Google マップを表示 ※ GPS 未受信状態での記録映像、インターネット未接続時はロゴを表示	㉙	【設定】 ボタン ビューワソフトの表示設定およびバージョン情報の表示を行う	
⑪	最小化ボタン			
⑫	映像の表示サイズを切替える (小 / 中 / 大の 3 段階)			
⑬	ビューワソフトを終了する			
⑭	サブカメラ撮影動画を表示 ※ウィンドウ表示位置の移動可	㉚	【CSV】 ボタン 録画データをリスト化し、CSV 形式で出力する (⇒ P43)	
⑮	各映像種類のチェックボックスの ON/OFF で、ファイルリストへの表示 / 非表示を選択			
⑯	録画データのフォルダーリストおよび各フォルダに記録されている映像種類をアイコンで表示 (⇒ P43)	㉛	【表示切替】 ボタン メインカメラとサブカメラの表示位置を切替えます。(⇒ P42)	
⑰	録画データのファイルリストを表示	㉜	ビューワソフトの音量を変更する	

映像を見る

サブ画面表示位置について

サブカメラ表示のウィンドウをクリックしたままマウスを移動すると、サブカメラの表示位置を変更することができます。



サブ画面表示切替について

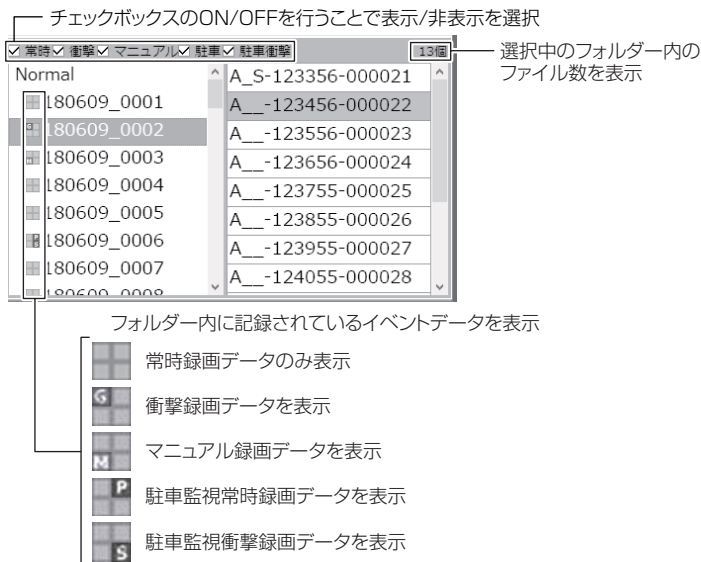
ビューワソフトの【表示切替】ボタンを押すとメインカメラとサブカメラの表示位置を切り替えることができます。



録画ファイルエリアについて

表示しているフォルダーを選択することで他の動画を再生することができます。

■ファイルエリア



CSV 出力について

録画データの〔ファイル名 / 日付 / 開始時刻 / 録画時間 / 録画トリガー / 録画サイズ / 画質 / フレームレート / データサイズ (メイン・サブ)] をリスト化して CSV 形式で出力します。

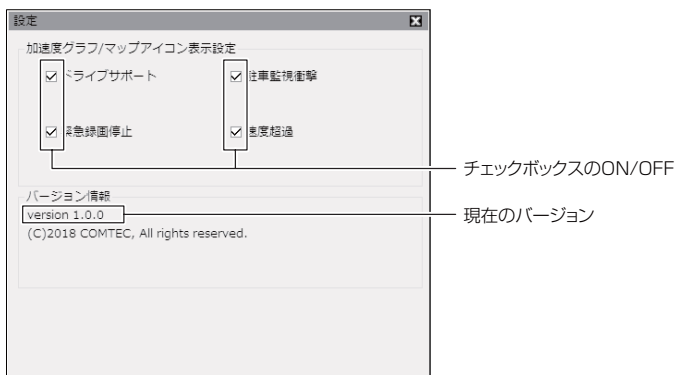
映像を見る

表示設定について

- 1) ビューワソフトの【設定】ボタンを押します。



- 2) [ドライブサポート / 緊急録画停止 / 駐車監視衝撃 / 速度超過] のチェックボックスを ON/OFF することで、加速度グラフへの表示または非表示にすることができます。



パソコンで録画データを保存 / 削除する

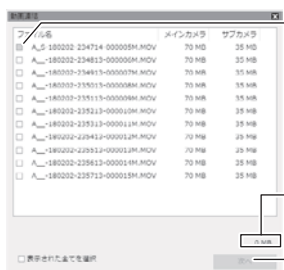
ビューワソフトの【動画】ボタンまたは【静止画】ボタンを押すことで、録画データの連結または静止画で保存することができます。

また、【削除】ボタンを押すことで、録画データを選択して削除することもできます。

録画データを連結して保存する

- ・本製品で記録した録画データを連結して1つのファイルとして保存することができます。メイン/サブと2つ保存されます。
 - ・動画の連結は連続したデータのみ保存する事ができます。
 - ・最大で1GB（1024MB）まで連結することができます。ただし1GB以内でも、100ファイルを超えて連結することはできません。
- ※連結を行なった録画ファイルは色付けされます。

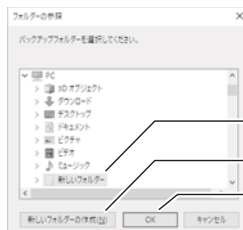
- 1) ビューワソフトの【動画】ボタンを押し、保存したいファイルにチェックマークを入れ【次へ】を押す。



①チェックマークを入れ、

②【次へ】を押す

- 2) 動画を保存するフォルダーを指定または作成し、【OK】を押す。



フォルダを指定する

新しいフォルダを作成

【OK】を押す

メイン・サブの動画ファイルと同フォルダー内に走行情報（隠しファイル）のデータが保存されます。保存されたデータはフォルダーで管理し、動画ファイルだけのコピーや移動、ファイル名の変更は絶対にしないでください。

映像を見る

録画データを静止画で保存する

- 1) ビューワソフトの【静止画】ボタンを押し、静止画の保存先を選択し、【OK】を押す。

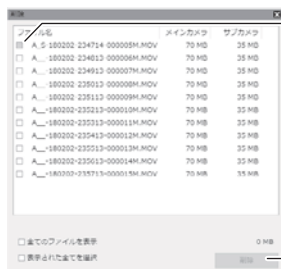


①保存先を選択し、

②【OK】を押す

録画データを削除する

- 1) ビューワソフトの【削除】ボタンを押し、削除したいファイルにチェックマークを入れ、【削除】ボタンを押す。



①チェックマークを入れ、

②【削除】を押す

地図表示について

- Google マップはインターネット接続時および速度情報がある場合に表示されます。
- 地図上にファイルごとの走行軌跡や、衝撃検出・マニュアル検出・ドライブサポート・緊急録画停止検出・速度超過検出の位置が表示されます。
- 表示設定(⇒P41-㊸、P44)でアイコンの表示・非表示を切替えることができます。
- GPS の受信状況により、走行軌跡が地図上の道路からズレることがあります。あらかじめご了承ください。
- Windows のアップデートや Google マップの仕様変更などにより、ビューワソフトで地図が表示できないなど、正常に動作しなくなることがあります。その際は弊社ホームページより最新版のビューワソフトをダウンロードしてご使用ください。※変更内容により対応できない場合があります。



《表示内容》

アイコン	内容	アイコン	内容	アイコン	内容
	衝撃検出アイコン		マニュアル録画検出アイコン		速度超過検出アイコン
	急加速アイコン (ドライブサポート)		急ブレーキアイコン (ドライブサポート)		急ハンドルアイコン (ドライブサポート)
	緊急録画停止検出アイコン				

👉 アドバイス

- 地図上の検出位置アイコンをクリックすると映像の再生位置がアイコンの場所に移動します。
- ストリートビューでもアイコンは表示されますが、映像再生中の地図の移動はできません。

※ Google および Google ロゴ、Google マップ および Google マップ ロゴは、Google Inc. の商標または登録商標です。

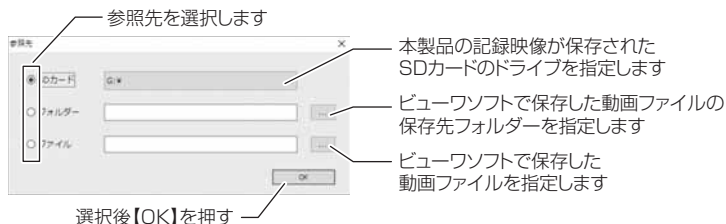
映像を見る

保存ファイルを開く

- 1) ビューワソフトの【参照】ボタンを押します。



- 2) 参照先を指定することで、ドライブやフォルダーに保存した動画を見ることができます。



アドバイス

パソコンに保存したデータ（MOV ファイル）を参照する際は、【フォルダー】または【ファイル】を選択してください。本製品で初期化した microSDHC カードのみ、【SD カード】を選択して SD カードのドライブを指定することでデータを確認することができます。

ファームウェアを更新する

弊社ホームページよりファームウェアソフトをダウンロードすることで、本製品のアップデートを行うことができます。

アドバイス

- ・弊社ホームページに更新ソフトがある場合、ビューワソフト起動時に更新のお知らせが表示されます。（インターネット接続時のみ）
- ・更新方法の詳細はホームページをご確認ください。ただし更新ソフトの準備がない場合、掲載はありません。

運転支援機能を使用する

運転支援機能について

- ・本製品は安全で快適な運転をサポートする運転支援機能を搭載しています。
- ・本機能を使用する場合は必ずキャリブレーション（補正）（⇒ P53,54）を行なってください。
- ・本製品の運転支援機能は下記の 5 つの機能を搭載しています。

項目	内容
先行車発進お知らせ機能	先行車の発進を検出し、お知らせを行います。
先行車接近お知らせ機能	先行車への接近を検出し、お知らせを行います。
車線逸脱お知らせ機能	走行車線の逸脱を検出し、お知らせを行います。
ドライブサポート機能	急加速や急減速等、一定以上の「G（加速・減速）」を検出し、お知らせを行います。
車速アラーム機能	設定した速度を超えた場合にお知らせを行います。

運転支援機能をご使用する前に下記内容をご確認ください。

- ・運転支援機能は運転者の負担軽減を目的とし、周辺状況、走行状態の変化を補助的にお知らせする機能です。すべての周辺状況、走行状態の変化を判断することはできません。お知らせの有無にかかわらず、必ず運転者が状況・状態を確認してください。
- ・一部機能は GPS を受信していない状態では動作しません。
- ・本体の取付位置、角度、フロントガラスの汚れ、フロントガラスへの映り込みなどにより正しく動作しない場合があります。
- ・画像情報を基に動作するため、天候（雨・雪・濃霧など）、逆光、先行車の形状や色などにより認識できずお知らせしない場合や、車線以外の周辺物や景色の変化などでお知らせを行う場合があります。
- ・運転支援機能作動時の表示画面は録画ファイルに記録されません。

運転支援機能
を使用する

運転支援機能を使用する

先行車発進お知らせ機能

停車時に前方の車両の発進を検出した場合、画面表示とアラームでお知らせします。

検出有効距離：0.3m ～ 3m



自車が停車状態

先行車が発進



『ピンポン♪
先行車を確認してください♪』

- ・ GPS を受信していない状態では動作しません。
- ・ 自車が停止状態の時のみ動作します。
- ・ 先行車との距離、位置や周囲の状況、明るさ、気象条件等によって正しく動作しない場合があります。
- ・ 画像情報を基に動作するため、先行車以外の周辺物や景色の変化でもお知らせを行う場合があります。
- ・ 先行車の形状や色により正しく動作しない場合があります。
- ・ 液晶表示設定が [OFF] の場合、画面表示は行いません。(⇒ P65)

先行車接近お知らせ機能

時速 60km/h 以上で走行中に前方の車両に接近したことを検出した場合、画面表示とアラームでお知らせします。



時速 60km/h
以上で走行中

先行車に接近

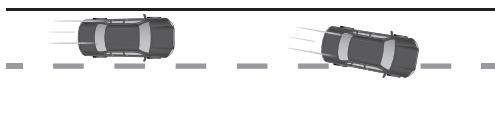


『ビビビビ♪
先行車に接近しています♪』

- ・ GPS を受信していない状態では動作しません。
- ・ 自車が 60km/h 以上で走行時のみ動作します。
- ・ 先行車との距離、位置や車線幅、周囲の状況、明るさ、気象条件等によって正しく動作しない場合があります。
- ・ 画像情報を基に動作するため、先行車以外の周辺物や景色の変化でも接近お知らせを行う場合があります。
- ・ 先行車の形状や色により正しく動作しない場合があります。
- ・ 液晶表示設定が [OFF] の場合、画面表示は行いません。(⇒ P65)

車線逸脱お知らせ機能

時速 60km/h 以上で走行中に自車が走行車線を逸脱したことを検出した場合、画面表示とアラームでお知らせします。



時速 60km/h
以上で走行中に

走行車線を
逸脱



「ビビビビッ」
走行車線を確認してください」

- ・ GPS を受信していない状態では動作しません。
- ・ 自車が 60km/h 以上で走行時のみ動作します。
- ・ 道路の色、車線の色、種類や周囲の状況、明るさ、気象条件等によって正しく動作しない場合があります。
- ・ 画像情報を基に動作するため、車線以外の周辺物や景色の変化でも車線逸脱お知らせを行う場合があります。
- ・ 車両ウinkerと連動しないため、車線変更時にも車線逸脱お知らせを行います。
- ・ 液晶表示設定が [OFF] の場合、画面表示は行いません。(⇒ P65)

運転支援機能を使用する

ドライブサポート機能

- ・急加速や急減速等、一定以上の「G（加速・減速）」を検出した場合、音声またはアラームでお知らせします。
- ・運転状況に応じてアナウンスは異なります。

運転状況	内容
急加速時	ピロリロリン♪ 急発進を検知しました。
急減速時	ピロリロリン♪ 急ブレーキを検知しました。
急ハンドル時	ピロリロリン♪ 急ハンドルを検知しました。

例) 急ブレーキを行なった場合



急ブレーキを行い、
一定以上の G を検出

「ピロリロリン♪
急ブレーキを検知しました。」

アドバイス

- ・ G センサーの設定に応じて検出レベルが変化します。
- ・ アラームが鳴らないように運転をすることで、加速・減速など運転をする際の目安にしてください。
- ・ スイッチ操作または衝撃により映像を記録している時はドライブサポートは作動しないことがあります。

◇長時間運転報知機能

連続で 2 時間運転を行なった時に下記のアナウンスを行います。

※ ドライブサポート機能を『アラーム』に設定していてもアナウンスを行います。

「運転時間が 2 時間になりました。そろそろ休憩してください。」

車速アラーム機能

- ・ 設定した速度を超えた場合に、アラームでお知らせします。
- ・ 警告後 1 分間は再アラームを行いません。



自車が設定した速度を超える

「キンコン♪
キンコン♪
キンコン♪」

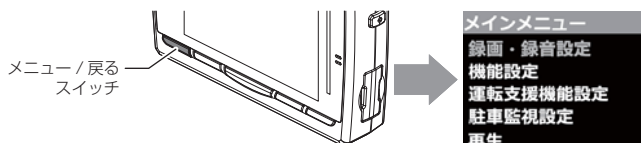
キャリブレーションを行う

運転支援機能を使用する場合は必ずキャリブレーションを行なってください。運転支援機能が正常に機能しない場合があります。

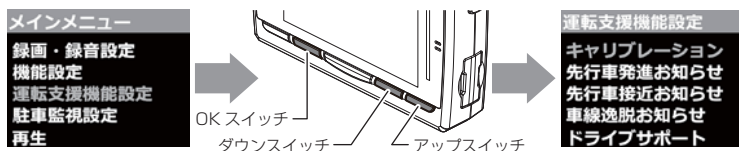
- ・キャリブレーションは他の車輛の通行の妨げにならない安全な場所で行なってください。またなるべく平坦な場所で行なってください。
- ・運転者は走行中に操作を絶対に行わないでください。必ず停車した状態で操作を行なってください。

キャリブレーション方法

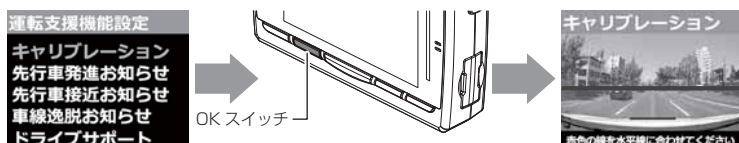
1. [メニュー / 戻る] を**長押し**し、メインメニューを表示する



2. [運転支援機能] を【アップ】【ダウン】で選択し、【OK】を押す



3. [キャリブレーション] が選択されているので、【OK】を押す



運転支援機能を使用する

4. メインカメラの角度を調整 (⇒ P15) し、下記範囲内に収まる様に上下方向の調整を行います。その後【アップ】【ダウン】スイッチを操作し、赤色の横線が道路の水平線に重なるように上下方向の調整を行なったら【OK】を押す

- ・道路の水平線が画面の中央付近に収まる
- ・ボンネットが映像の下部から 25% 以内に収まる



道路の水平線と走行車線中央が画面の中心付近に合うよう取付角度を調整する

赤い線が道路の水平線に合うように【アップ】【ダウン】で調整する。

ボンネットが映像の下部から 25% 以内に収まる様に調整する

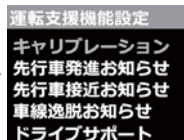
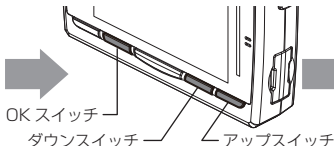
5. 次に青色の横線が車の先端に合うように【アップ】【ダウン】スイッチを操作し、調整を行なったら【OK】を押す



青い線が車両の先端に合うように【アップ】【ダウン】で調整する。

車両の先端が映らない場合は、前方約 3m 先の路面に合わせて青色線を調整してください。

6. 最後に車両の高さを選び【OK】スイッチを押し完了です



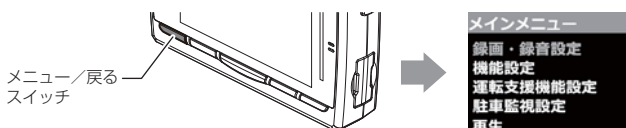
設定方法

本製品のシステム設定は、本体のメインメニューから変更を行うことができます。

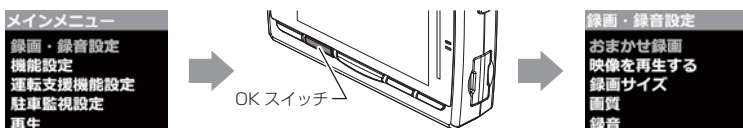
設定画面での操作方法

例：録画サイズの設定を【FullHD】に設定変更するには・・・

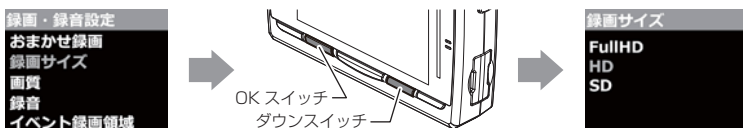
1. 【メニュー／戻る】を長押しし、[メインメニュー]を表示する



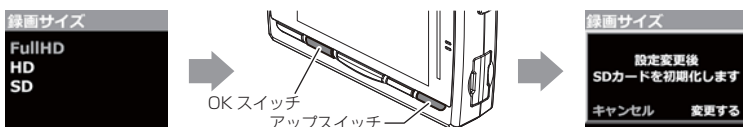
2. 【OK】を押して「録画・録音設定」が選択されているので、もう一度【OK】を押す



3. 【ダウン】を1回押して「録画サイズ」を選択し、【OK】を押す



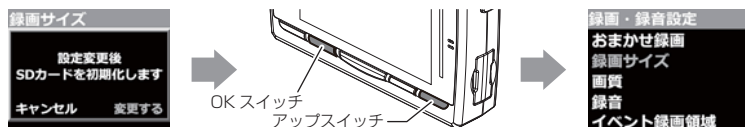
4. 【アップ】を押して「FullHD」を選択し【OK】を押す



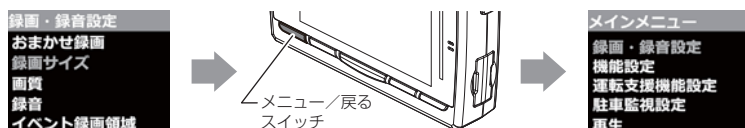
設定

5. 【アップ】を押して「変更する」を選択し、【OK】を押して設定を変更する

・続けて別項目を設定することもできます。



6. 【メニュー/戻る】を押して「メインメニュー」を終了し設定モードを抜けます



7. SD カードの初期化が始まり、初期化が終了すると録画画面が表示します



設定内容一覧

録画・録音設定一覧

項目	設定内容	初期設定	備考
おまかせ録画	キレイ / ロング / おすすめ	—	microSD カード が初期化されます
録画サイズ	Full HD (1920 × 1080) / HD (1280 × 720) / SD (640 × 360)	HD (1280 × 720)	
画質	高画質 / 低画質	高画質	
録音	OFF / ON (小) / ON (大)	ON (大)	
イベント録画領域	10% / 20% / 30%	20%	microSD カード が初期化されます
上書き禁止	OFF / イベント / ALL	OFF	
メインカメラ画像補正	HDR/WDR	WDR	
メインカメラ輝度	明るい / 標準 / 暗い	標準	
サブカメラ輝度	明(+2) / 明(+1) / 標準 / 暗(-1) / 暗(-2)	標準	
サブカメラ上下反転	標準 / 反転	標準	
サブカメラ鏡像	標準 / 反転	標準	
サブカメラ赤外線LED	OFF/ON	ON	

機能設定一覧

項目	設定内容	初期設定	備考
G センサー	OFF/0.1G ~ 1.0G	0.6G	前後 / 左右 / 上下 それぞれ設定可能
日時設定	年月日 時分秒	—	詳細設定は P22 を参照
タイムスタンプ	OFF/ON	OFF	
緊急録画停止	OFF/1.1G ~ 2.0G	1.5G	
かんたんスイッチ	再生 / 録画 / 録音	再生	
液晶明るさ	明るい / 標準 / 暗い	標準	
液晶表示	OFF / 速度連動 / ON / 時計	速度連動	
本体音量	OFF / 1 ~ 10	5	
パスワード	OFF/ON (任意の4桁英数字)	OFF	
SD カードの初期化	—	—	詳細は P67 を参照
工場出荷状態に戻す	—	—	

設定

運転支援機能設定一覧

項目	設定内容	初期設定	備考
キャリブレーション			
先行発進お知らせ	OFF/ アラーム / 音声	OFF	
先行車接近お知らせ	OFF/ アラーム / 音声	OFF	
車線逸脱お知らせ	OFF/ アラーム / 音声	OFF	
ドライブサポート	OFF/ アラーム / 音声	OFF	
車速アラーム	OFF/10km/h ~ 140km/h	OFF	10km/h 単位

駐車監視設定一覧

項目	設定内容	初期設定	備考
駐車監視モード	OFF/ON	OFF	microSD カード が初期化されます
録画割合	5% / 25% / 50%	5%	
録画方式	衝撃 / 常時 + 衝撃 / タイムラプス	常時 + 衝撃	
録画停止電圧	12V 車 11.7V ~ 12.2V (0.1V 単位で設定)	12.2V	車両電圧を 認識し自動で 12V/24V を切 替えます。
	24V 車 23.4V ~ 24.4V (0.2V 単位で設定)	24.4V	
録画時間	30 分 / 1 ~ 12 時間 / 常時 ON	1 時間	
衝撃録画停止	OFF/ON	ON	
衝撃感度	高 / 中 / 低	中	
降車キャンセル	1 分 / 2 分	1 分	

再生一覧

項目	設定内容	初期設定	備考
常時録画	—	—	
衝撃録画	—	—	
マニュアル録画	—	—	
駐車監視常時録画	—	—	
駐車監視衝撃録画	—	—	

機器情報

項目	設定内容	初期設定	備考
バージョン	—	—	
電圧	—	—	

おまかせ録画設定※設定を変更すると microSDHC カードが初期化されます

- ・【録画サイズ】および【画質】の設定を一括で簡単に変更することができます。
- ・設定は [キレイ / ロング / おすすめ] から選択できます。

■設定内容

設定		キレイ	ロング	おすすめ
録画サイズ	メイン	FullHD	SD	HD
	サブ	HD	SD	HD
画質		高画質	低画質	高画質

録画サイズ設定※設定を変更すると microSDHC カードが初期化されます

- ・記録する映像サイズを [Full HD (1920 × 1080) [注 1] / HD (1280 × 720) / SD (640 × 360)] から選択できます。
- ・お買い上げ時は【HD (1280 × 720)】に設定されています。
- [注 1] サブカメラの録画サイズは HD になります。

画質設定※設定を変更すると microSDHC カードが初期化されます

- ・記録する映像の画質を [高画質 / 低画質] から選択できます。
- ・お買い上げ時は【高画質】に設定されています。

録音設定

- ・記録する映像の音声録音を [OFF/ON(小)/ON(大)] から選択できます。
- ・お買い上げ時は【ON(大)】に設定されています。

イベント録画領域設定※設定を変更すると microSDHC カードが初期化されます

- ・イベント録画 (衝撃録画およびマニュアル録画) の容量割合を [10% / 20% / 30%] から選択できます。
- ・お買い上げ時は【20%】に設定されています。

※ イベント録画件数が少ない場合は、常時録画領域として使用されます。

■ microSDHC カード容量によるイベント録画件数の目安

設定	microSDHC カード容量		
	8GB	16GB	32GB
10%	6 件	11 件	23 件
20%	12 件	23 件	47 件
30%	17 件	35 件	71 件

※ 上記件数は初期設定の録画サイズ (HD) ・画質 (高画質) ・駐車監視録画割合 (5%) での目安となり、実際とは異なる場合があります。また、駐車監視衝撃録画は含みません。

設定

上書き禁止設定

- ・録画データが microSDHC カード容量の上限まで達した場合の動作を、[OFF/ イベント / ALL] から選択できます。
- ・お買い上げ時は【OFF】に設定されています。

設定		上限に達した場合	
		常時録画・ 駐車監視常時録画	イベント録画・ 駐車監視衝撃録画
OFF	 すべての録画データを 上書きします。	上書きして録画を継続	
イベント	 イベント録画データのみ 上書きされません。	上書きして 録画を継続	録画を停止
ALL	 すべての録画データは 上書きされません。	録画を停止	

メインカメラ画像補正設定

- ・本製品には HDR（ハイ・ダイナミック・レンジ）機能と WDR（ワイド・ダイナミック・レンジ）機能を搭載することにより、白とびや黒つぶれを補正した、よりくっきりした録画データを記録することができます。
- ・HDR に設定した場合、複数の明暗の違う画像を合成することで、白とびや黒つぶれを補正します。
 - ※ 画像は鮮明に見えますが、光などの影が二重に記録されます。
- ・WDR に設定した場合、明るい領域を保ちながら暗い領域の明るさを上げ、全体の明度を平均的に補正し記録を行います。
 - ※ HDR 機能に比べ、鮮明さは低くなりますが、より自然な色味で映像を記録します。
- ・お買い上げ時は【WDR】に設定されています。

アドバイス

白とび / 黒つぶれとは

白とび……… 明るい部分が真っ白に映っている様子を言います。

黒つぶれ……… 暗い部分が真っ黒に映っている様子を言います。

メインカメラ輝度設定

- ・メインカメラで撮影する映像の明るさを [明るい / 標準 / 暗い] から選択することができます。
- ・お買い上げ時は【標準】に設定されています。

サブカメラ輝度設定

- ・サブカメラで撮影する映像の明るさを [明 (+2) / 明 (+1) / 標準 / 暗 (-1) / 暗 (-2)] から選択することができます。
- ・お買い上げ時は【標準】に設定されています。

サブカメラ上下反転設定

- ・サブカメラで撮影する映像の上下方向を [標準 / 反転] から選択することができます。
- ・設置場所により [標準 / 反転] を変更してください。
- ・お買い上げ時は【標準】に設定されています。

サブカメラ鏡像設定

- ・サブカメラで撮影する映像を [標準 / 反転] から選択することができます。
- ・お買い上げ時は【標準】に設定されています。

サブカメラ赤外線 LED 設定

- ・サブカメラで撮影する映像の赤外線 LED の照射を [OFF/ON] から選択することができます。
- ・お買い上げ時は【ON】に設定されています。

アドバイス

赤外線 LED について

- ・赤外線 LED により室内を鮮明に撮影することができます。また、被写体が赤みをおびた映像で録画されることがあります。
- ・被写体までの距離が近く映像が白飛びしてしまう場合は、設定を OFF に変更、または取付け位置の変更をおすすめします。

設 定

機能設定

G センサー設定

- ・衝撃を検出する感度を前後・左右・上下のそれぞれ [OFF/0.1G（敏感）～ 1.0G（鈍感）] から選択できます。
- ・[OFF] に設定すると衝撃検出での録画を行いません。
- ・お買い上げ時は【0.6G】に設定されています。運転状況に合わせて調整してください

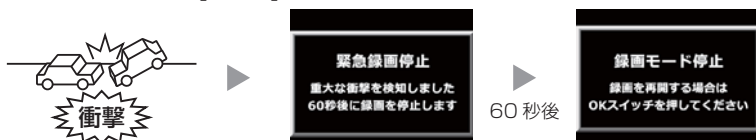
タイムスタンプ設定

- ・本設定を ON にすることで録画データに録画日時を埋め込むことができます。専用ビューワソフトを使用せずに、Windows Media Player などで再生する際にも録画日時を確認することができます。
- ・お買い上げ時は【OFF】に設定されています。

タイムスタンプ機能は映像と録画しながら日時を埋め込むため、処理状況により若干の時間のずれが発生することがあります。

緊急録画停止設定

- ・緊急録画停止機能とは、事故などで強い衝撃を検出した後の約 60 秒後に、自動で録画を停止し、重要なデータの上書きを防止する機能です。
- ※ 前後・左右・上下いずれかの衝撃が設定値を超えた際に録画を停止します。
- ・衝撃を検出する感度を [OFF/1.1G (敏感) ~ 2.0G (鈍感)] から選択できます。
- ・お買い上げ時は【1.5G】に設定されています。



⚠ 注意

強い衝撃を検出し、録画が停止するまでの 60 秒の間に設定メニューに入る、microSDHC カードを抜く、その他メッセージ表示が出た場合は本機能による録画の停止は行われません。ご注意ください。

👆 アドバイス

事故にあった際に...

本製品は microSDHC カードの容量がいっぱいになると、常時録画、衝撃 / マニュアル録画それぞれの古いデータを上書きして新しいデータを記録します。

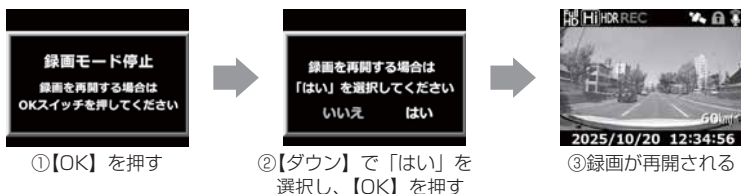
そのため事故後 microSDHC カードを抜かずにそのまま車両を移動させたり、修理工場で修理を行う際など本製品の電源が ON になった場合、重要なデータが不意に上書きされてしまう可能性があります。

万一、事故に遭遇した際に、冷静に本製品の電源を OFF にし、microSDHC カードを抜く、といった行動を取るのが難しいと考えられる場合、本機能を有効にしておくことをお勧めします。

■録画を再開する場合

緊急録画停止機能によって録画が停止した場合、本製品を再起動しても録画が停止したままとなります。録画を再開する場合は、下記手順で録画を再開してください。

※ 再開するまで 3 分に一度ブザー音でお知らせします。



設定

かんたんスイッチ設定

- ・かんたんスイッチの動作内容を [再生 / 録画 / 録音] から選択することができます。
- ・お買い上げ時は【再生】に設定されています。

[再生]最後に撮影した映像を設定メニューに入らず再生します。(⇒ P35)

[録画]マニュアル録画を行います。

[録音]一時的に録音設定の ON/OFF を切替えます。

アドバイス

【録音】設定について

- ・録音設定にすると、かんたんスイッチを押すたびに ON (大) /OFF または ON (小) /OFF に切替わります。
- ・かんたんスイッチ操作により設定を切替えた場合、再起動や設定メニューに入る、緊急録画停止機能が作動するなどの場合、【録音設定】(⇒ P59) で選択した設定に戻ります。

液晶明るさ設定

- ・液晶ディスプレイの明るさを [明るい / 標準 / 暗い] から選択することができます。
- ・お買い上げ時は【標準】に設定されています。

液晶表示設定

- ・録画モード中の液晶ディスプレイの表示を [OFF/ 速度連動 /ON/ 時計] から選択することができます。
- ・お買い上げ時は【速度連動】に設定されています。

■設定内容

- [OFF]液晶ディスプレイの表示を行いません。【メニュー/戻る】スイッチを押した時のみ、液晶ディスプレイを 30 秒間表示し、消灯します。
- [速度連動]起動後速度 10km/h 以上で走行すると、液晶ディスプレイは非表示に切替わります。停車後も非表示のままとなりますが、【メニュー/戻る】スイッチを押すことにより、次回 10km/h 以上で走行するまでの間、表示を行います。
- [ON]液晶ディスプレイを常に表示します。
- [時計]時計とカレンダーを常に表示します。

👉 アドバイス

速度連動設定について

- ・起動時は液晶ディスプレイを常に表示し、GPS を受信するまでの間、液晶ディスプレイを表示します。
- ・速度 10km/h 以上で走行し液晶ディスプレイが消灯する際は、メッセージ画面を表示し、消灯します。また走行中に【メニュー/戻る】スイッチを押した際もメッセージ画面を表示し、消灯します。

走行中は液晶表示を
OFFにします

本体音量設定

- ・本体の確認音や再生時の音量を [OFF/1 ～ 10] の 11 段階から選択することができます。
 - ・お買い上げ時は【5】に設定されています。
- ※ 音量を OFF に設定してもメッセージ画面表示の際はお知らせします。(⇒ P83)

設定

パスワード設定

- ・パスワードを設定することで、他人に録画データを見られないようにするなど、プライバシーの保護やセキュリティを強化することができます。
 - ・パスワードを設定すると、設定メニューに入る際にパスワードを入力しないとメニュー画面が表示されません。
 - ・お買い上げ時は【OFF】に設定されています。
- ※ パスワードを設定していると、駐車監視衝撃検知のお知らせ[再生]操作や、かんたんスイッチ操作による[再生]操作も行うことができません。（[録画]、[録音]操作は可能です）

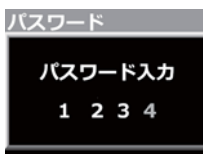
■設定方法

1) 【ダウン】で【ON】を選択し、【OK】を押す

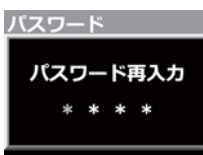


2) 【アップ】【ダウン】で英数字を選択し、【OK】で決定する

※「*」が入ったままだと設定できません。



3) 2) を繰り返し4文字のパスワードを入力し【OK】を押すと、再入力画面が表示されるので再度設定したパスワードを入力し【OK】を押すことで設定完了です



パスワードについて

【パスワードを設定した場合】

パスワードを忘れないように管理してください。

【誤ったパスワードを入力した場合】

『パスワードが違います』と表示されるので、再度入力を行なってください。

【パスワード設定を解除する場合】

パスワードを入力して設定メニューに入り、パスワード設定画面で【OFF】を選択してください。

【パスワードを忘れてしまった場合】

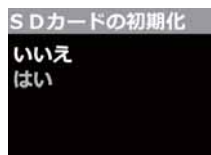
パスワードの入力を5回失敗すると消去することができます。ただし、録画データもすべて消去され設定内容が初期化されてしまいますのでご注意ください。

SD カードの初期化（録画データの消去）

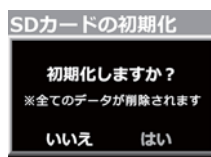
- ・ microSDHC カードの録画データを消去し初期化を行います。
（初期化を行っても本体の設定情報は保持されます）
 - ・ 新しい microSDHC カードや付属以外の microSDHC カードを使用する場合は、必ず SD カードの初期化を行なってください。
- ※ microSDHC カード内のデータがすべて消去されます。録画データが必要な場合は、必ず事前にバックアップを行なってください。

■初期化方法

- 1) 【ダウン】で [はい] を選択し、【OK】を押す



- 2) 【ダウン】で [はい] を選択し、【OK】で
microSDHC カードが初期化されます



工場出荷状態に戻す（オールリセット）

本製品に記録された録画データおよび設定情報をすべて消去します。

⚠ 注意

- ・ 消去したデータを復元することはできません。
- ・ microSDHC カードの初期化中は絶対に電源を切らないでください。途中で電源を切った場合、microSDHC カードの故障の原因となりますのでご注意ください。

設定

運転支援機能設定

■【音声】設定時のアナウンス内容

運転状況	アナウンス内容
先行車発進お知らせ	ピンポーン♪ 先行車を確認してください。
先行車接近お知らせ	ピピピピッ♪ 先行車に接近しています。
車線逸脱お知らせ	ピピピピッ♪ 走行車線を確認してください。
ドライブサポート 急加速時	ピロリロリン♪ 急発進を検知しました。
ドライブサポート 急減速時	ピロリロリン♪ 急ブレーキを検知しました。
ドライブサポート 急ハンドル時	ピロリロリン♪ 急ハンドルを検知しました。

※【アラーム】設定時は効果音のみでお知らせします。

先行車発進お知らせ設定

- ・停車時に前方の車両の発進を検出すると、お知らせを行います。
- ・【OFF/ アラーム / 音声】を設定できます。
- ・お買い上げ時は【OFF】に設定されています。

先行車接近お知らせ設定

- ・60km/h 以上で走行中に自車が前方車両への接近を検出すると、お知らせを行います。
- ・【OFF/ アラーム / 音声】を設定できます。
- ・お買い上げ時は【OFF】に設定されています。

車線逸脱お知らせ設定

- ・60km/h 以上で走行中に自車が走行車線の逸脱を検出すると、お知らせを行います。
- ・【OFF/ アラーム / 音声】を設定できます。
- ・お買い上げ時は【OFF】に設定されています。

ドライブサポート設定

- ・[アラーム]または[音声]に設定すると、急加速や急減速等、一定以上の「G（加速・減速）」を検出時に、アラーム音または音声でお知らせする機能です。エコ運転の目安にしてください。また、長時間運転報知機能も連動して ON になります。
- ・お買い上げ時は【OFF】に設定されています。
- ※ G センサーの設定が 0.3G 以下の場合はお知らせしません。
- ※ 自車の走行速度が 30km/h 未満の場合は、急ハンドル時のアナウンスを行いません。

◇長時間運転報知機能

連続で 2 時間運転を行なった時に下記のアナウンスを行います。

※ ドライブサポート機能を『アラーム』に設定していてもアナウンスを行います。

「運転時間が 2 時間になりました。そろそろ休憩してください。」

車速アラーム設定

- ・設定画面で [OFF/10 ～ 140km/h] から選択し設定することで設定した速度を超えた場合にアラーム音で警告を行います。また、警告後 1 分間は再アラームを行いません。
- ・お買い上げ時は【OFF】に設定されています。

機器情報

バージョン情報

本製品のファームウェアバージョンを表示します。

電圧

本製品への入力電圧を表示します。

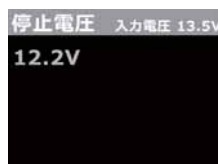
駐車監視モードを使用する（オプション）

駐車監視モードについて

- ・別売オプションの HDROP-14『駐車監視・直接配線コード』を使用することで、車両キースイッチ OFF 後も電源供給を行い、録画を行うことができます。
- ・HDROP-14『駐車監視・直接配線コード』を接続後は設定モードより『駐車監視モード』の設定を変更してください。接続しただけでは駐車監視モードに移行しません。
- ・別売の HDROP-15『直接配線コード』で接続しても駐車監視モードを使用することはできません。

駐車監視・直接配線コードを取付けたら

別売の『駐車監視・直接配線コード』を取付けたら、**【メニュー / 戻る】を長押し**し、メインメニュー → 駐車監視設定 → 停止電圧設定を表示します。現在の入力電圧が表示されますので、テスターなどを使用して常時電源接続ポイントと入力電圧の数値に大きな差がないことを確認します。



👉 アドバイス

- ・常時電源の接続ポイントと電圧の差が大きい場合は、常時電源線の接続確認やアースポイントの変更を行ってください。
- ・表示される数値はあくまでも参考値となります。本体の設定内容によっても表示誤差は発生します。
- ・電源配線のカットまたは延長は、表示数値の誤差が大きくなりますのでおやめください。

⚠ 注意

- ・駐車監視モードは車両の常時電源を使用しているため、車両バッテリーへの負荷がかかります。定期的に車両バッテリーの点検を行ってください。
- ・次の方は車両バッテリー上がりの原因になりますので使用を控えてください。（毎日乗車しない・1日の走行が1時間以下・車両バッテリーを1年以上使用している）
- ・駐車監視モードの使用後は車両バッテリー電圧が低下した状態のため、必ずエンジンを始動し、車両バッテリーの充電を行ってください。車両バッテリー上がり原因となります。
- ・車両バッテリー上がりに関して、弊社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- ・長時間録画を行う場合、microSDHC カードの容量や本体の設定により、録画データが上書きされる場合がありますのでご注意ください。

駐車監視モードの動作について

駐車監視モードに移行する

- ・[駐車監視モード] 設定を ON に設定し、車両キースイッチを OFF にすると駐車監視モードに移行します。
- ・駐車監視モード動作中は LED ランプが緑 3 回早点減を繰り返します。
- ・駐車監視モード中の常時録画データは『駐車監視常時録画』データとして記録され、衝撃録画データは『駐車監視衝撃録画』データとして記録されます。

■ 駐車監視モード動作中



緑 3 回早点減

👉 アドバイス

車両キースイッチ OFF 後、[降車キャンセル] 設定時間内は、降車時の振動による衝撃とみなし、衝撃の検出を行いません。

駐車監視モードを終了する

- ・駐車監視モードは車両キースイッチが ACC または ON になった時点や【駐車監視】スイッチを押すことで終了させることができます。
- ・停止電圧設定以下になった際や駐車監視録画時間設定で設定した時間経過後にも駐車監視モードは終了します。

👉 アドバイス

- ・駐車監視モード中に衝撃を検出した場合、次回起動時に駐車監視モード中に衝撃があったことをアナウンスでお知らせします。お知らせ後は【OK】スイッチを押すまで録画を開始しません。

乗車キャンセル機能

- ・車両キースイッチを ACC または ON 後、1 分以内に検出した衝撃は、乗車時の振動による衝撃とみなし上記アナウンスを行いません。

駐車監視モードを使用する（オプション）

ワンタイム駐車監視モード機能

- ・通常駐車監視モード設定を【OFF】に設定していても、録画中またはエンジン停止後 60 秒以内に駐車監視スイッチを押すことで、一時的に駐車監視モードを ON にすることができます。
- ・外出先でのみ駐車監視モードを使用したい場合などにご使用することをおすすめします。

駐車監視モードパス機能

- ・通常駐車監視モード設定を【ON】に設定していても、駐車監視スイッチを押すことで、一時的に駐車監視モードを OFF にすることができます。
- ・機械式立体駐車場や振動の多い場所、風の強い日など、本製品が衝撃を検出してしまうような場所へ駐車する際にご使用することをおすすめします。
- ・駐車監視モード中に操作を行うことで、駐車監視モードを終了することができます。

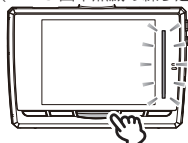
👉 アドバイス

「ワンタイム駐車監視モード」「駐車監視モードパス機能」は、車両キースイッチを ON にし、本体の電源を ON にすることで解除され、[駐車監視モード設定] による設定に戻ります。

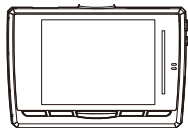
駐車監視モード作動中の microSDHC カードの取り出し方

駐車監視モード作動中の場合、車両キースイッチを OFF にしても本体は動作しています。そのため microSDHC カードを抜く際は、必ず【駐車監視】スイッチを押して駐車監視モードを終了後、microSDHC カードアクセスランプが消灯したことを確認し、microSDHC カードを抜いてください。

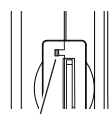
駐車監視モード動作中
(LED3 回早点滅の繰り返し)



駐車監視スイッチを押す



駐車監視モード停止
(LED 消灯)



microSDHC カード
アクセスランプ
(LED 消灯)

駐車監視モードの各種設定

駐車監視モード設定

- ・本製品の駐車監視モードは [OFF / ON] から選択できます。
- ・お買い上げ時は【OFF】に設定されています。

録画割合設定※設定を変更すると microSDHC カードが初期化されます

- ・駐車監視録画データの保存容量の割合が [5% / 25% / 50%] から選択できます。
- ・駐車監視モード設定を ON にすると自動で 50%に変更されます。また、駐車監視モード設定を OFF にした場合は設定を保持し、変更はされません。
- ・お買い上げ時は【5%】に設定されています。

録画方式設定※設定を変更すると microSDHC カードが初期化されます

- ・本製品の駐車監視録画方式設定は [衝撃録画 / 常時・衝撃録画 / タイムラプス録画] から選択できます。
- ・お買い上げ時は【常時・衝撃録画】に設定されています。
 - [衝撃録画] 駐車監視モード中、衝撃録画のみ記録します。
 - [常時・衝撃録画] 駐車監視モード中、常時録画および衝撃録画の記録を行います。
 - [タイムラプス録画] 駐車監視モード中、1 秒に 1 枚の静止画を記録し、実際の時間より短い動画として保存することで、長時間の常時録画および衝撃録画の記録を行います。また、サブカメラの録画は行いません。
※タイムラプス中は録音設定に関わらず、録音はされません。

アドバイス

タイムラプス録画について

- ・タイムラプス録画に設定した場合、通常 1 ファイルあたりに記録される実時間は 15 分になります。15 分の記録を 1 分で再生し短時間で確認することができます。
- ・タイムラプス中に衝撃を受けた場合、衝撃ポイントは記録されますが、表示位置がズレることがあります。
- ・予期せぬ電源 OFF の際は、録画データが短く（最大 1 秒）保存される場合があります。

駐車監視モードを使用する（オプション）

録画停止電圧設定

- ・ 駐車監視モードを停止する車両バッテリーの電圧を 12V/24V 車両それぞれ 6 段階から選択できます。
- ・ お買い上げ時は 12V 車両は【12.2V】 24V 車両は【24.4V】に設定されています。
12V 車両..... [11.7V / 11.8V / 11.9V / 12.0V / 12.1V / 12.2V]
24V 車両..... [23.4V / 23.6V / 23.8V / 24.0V / 24.2V / 24.4V]

録画時間設定

- ・ 駐車監視モードの動作時間を [30 分 / 1 時間 / 2 時間 / 3 時間 / 4 時間 / 5 時間 / 6 時間 / 7 時間 / 8 時間 / 9 時間 / 10 時間 / 11 時間 / 12 時間 / 常時 ON] から選択できます。
- ・ 【常時 ON】に設定すると、車両バッテリー電圧が [録画停止電圧設定] で設定した電圧に低下するまでの間、動作を行います。
- ・ お買い上げ時は【1 時間】に設定されています。

衝撃録画停止設定

- ・ 駐車監視モード中に衝撃を検出した場合に、上書き防止のため 5 分後に録画を停止します。また、次回起動時に衝撃を検知したことをメッセージとブザー音でお知らせします。
- ・ お買い上げ時は【ON】に設定されています。

衝撃感度設定

- ・ 駐車監視モード中の衝撃を検出する感度を [高 / 中 / 低] から選択できます。
- ・ お買い上げ時は【中】に設定されています。

降車キャンセル設定

- ・ 車両から降車時の振動や衝撃による記録を行わない時間を [1 分 / 2 分] から選択できます。
- ・ お買い上げ時は【1 分】に設定されています。

タイムラプス録画設定時の記録時間

- ・録画方式設定を「タイムラプス録画」設定にした場合、通常録画の15倍の時間が記録されます。
- ・初期設定は「HD・高画質・録画割合 5%」

録画サイズ	画質	録画割合（microSD カード 16GB）		
		5%	25%	50%
FullHD	高画質	約 2.5 時間	約 8 時間	約 16 時間
	低画質	約 3 時間	約 13 時間	約 26 時間
HD	高画質	約 2.5 時間	約 15 時間	約 31 時間
	低画質	約 4 時間	約 27 時間	約 52 時間
SD	高画質	約 7.5 時間	約 47 時間	約 89 時間
	低画質	約 12.5 時間	約 79 時間	約 146 時間

- ※ 付属の microSDHC カードの録画時間を示します。
- ※ 上記の記録時間はあくまで参考値です。
- ※ 市販の microSDHC カードを使用する場合は、必ず本体で動作することを確認の上、ご使用ください。なお、動作や保存などの保証は致しかねますので、あらかじめご了承ください。
- ※ 使用する microSDHC カードによっては上記録画時間と異なる場合があります。

駐車監視モードを使用する（オプション）

駐車監視モードについてのご質問

Q. 駐車監視モード中はずっと録画していますか？

- A. 本製品の駐車監視モード中は電源 OFF 後も設定により常時録画および衝撃録画を行います。ただし、駐車監視モード設定中でも「録画時間」設定時間経過後や、車両バッテリーの電圧が「録画停止電圧」設定以下になると、駐車監視モードを終了します。

※ 夏の暑い日や冬の寒い日など、駐車監視モード中に本体の使用温度範囲を超えた場合、録画を停止する場合があります。あらかじめご了承ください。

Q. 駐車監視モードへ移行しない、すぐに停止してしまう

- A. 1. 「駐車監視モード」設定が「ON」に設定されていることをご確認ください。
2. 本製品は車両バッテリー保護のため、停止電圧が設定されています。車両バッテリーが劣化している場合など、車両バッテリーの電圧が「録画停止電圧」設定以下の場合やその付近の場合など駐車監視モードが作動しない場合があります。
3. 駐車監視・直接配線コードの常時電源線を、車両 ACC 線へ接続していると駐車監視モードへは移行しません。

Q. 駐車監視モードを使用せず、走行中のみ録画したい

- A. 「駐車監視モード」設定を「OFF」に設定し、録画割合を 5% に設定してください。

Q. 駐車監視モードの作動確認を行うには？

- A. 駐車監視モード作動中は本体の LED ランプが下記点滅を繰り返します。

LED ランプ	本体動作	内容
緑 3 回早点滅	録画中	駐車監視モードによる録画中 降車キャンセルタイマー中
橙 3 回早点滅	監視中	衝撃待機中 ※録画方式「衝撃」を選択
緑点滅	録画中	駐車監視モードによる衝撃録画中

Q. 後方、側方の映像も録画しますか？

- A. メインカメラとサブカメラの向いている方向のみの録画となります。録画方式をタイムラプス録画に設定した場合は、メインカメラのみの録画となります。

Q. 夜間の街灯などの無い暗い所でも撮影できますか？

- A. 駐車監視モード中はヘッドライトなどの光源が無いため、状況によって鮮明な映像が記録できない場合があります。あらかじめご了承ください。

補償サービスについて

本製品には万が一の事故に遭われた際にお見舞金として登録から1年間、一律2万円を補償する補償サービスが付いています。

補償サービスを受ける場合下記手順に従い、登録、申請を行なってください。

1. 加入者リストへ登録する

本製品購入後、**1ヶ月以内**に弊社HPにて補償サービスを申し込み、加入者リスト登録を行ってください。

※ **登録が1ヶ月を過ぎた場合、補償サービスは受けられません。**

補償サービス登録ページ URL :

<http://www.e-comtec.co.jp/hosyou/recorder/index.html>

2. 事故に遭われた場合の申請方法

- 1) 下記必要書類 **4点をすべて揃え**、事故日より**2ヶ月以内**に弊社サービスセンターまで送付します。**当日消印有効**

※**必要書類不足や2ヶ月以内に送付もしくは連絡しなかった場合、また補償サービス提供期間前の事故は、補償サービスは受けられません。**

- ・ドライブレコーダー補償サービス利用依頼書（弊社HPよりダウンロード）
- ・警察の発行する事故証明書
- ・対象車両の修理見積書（事故後の見積発行日より**2ヶ月以内**）
- ・本製品の事故映像データまたは対象車両に本製品が装着されていたことがわかる資料（車種、ナンバーがわかる写真など）

- ・事故映像データは、付属 microSDHC カードまたはビューワソフトにて保存された動画データを CD-R や DVD-R などの記録メディアにコピーしてお送りください。
- ・お送り頂いた書類、microSDHC カードや記録メディアなどの返却は致しかねますのであらかじめご了承ください。

- 2) 弊社にて書類を受付確認後、『ドライブレコーダー補償サービス利用依頼書』に記載していただいた口座へお見舞金を振り込ませていただきます。

アドバイス

補償サービスの更新について

本補償サービスは登録から1年間有効です。また2年目からは有料で更新することができます。（1年ごとの更新。最長3年間）

ただし、一度でも補償サービスを受けられた場合は、更新を行うことができません。詳しくは弊社ホームページをご確認ください。

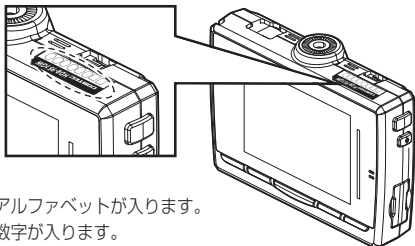
補償サービス

👆 アドバイス

本製品のシリアル No. 記載場所

補償サービスへ申し込む際に、パッケージまたは本製品に記載のシリアル No. を記入する必要があります。未記入の場合や誤った内容を記入されていた場合、補償サービスが受けられなくなりますので、間違えの無いようご注意ください。

■本体記載箇所

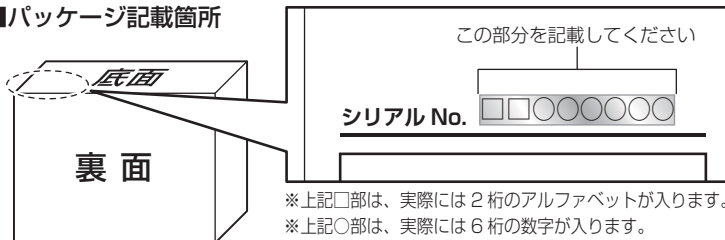


シリアル No.

※上記□部は、実際には 2 桁のアルファベットが入ります。

※上記○部は、実際には 6 桁の数字が入ります。

■パッケージ記載箇所



※上記□部は、実際には 2 桁のアルファベットが入ります。

※上記○部は、実際には 6 桁の数字が入ります。

ドライブレコーダー補償サービス約款

第1条（本規約の適用範囲）

この約款（以下「本約款」といいます。）は、株式会社コムテックが提供する第4条（本サービスの内容）所定の特典を利用する際に適用されます。

第2条（定義）

1. 「加入者様」とは、株式会社コムテックが販売するドライブレコーダーを購入し、所定の方法で株式会社コムテックの補償サービス加入者リストに登録し、事故等の時点で利用しているお客様をいいます。
2. 「本サービス」とは、株式会社コムテックが加入者様に提供するドライブレコーダーの補償サービスをいいます。

第3条（本サービスの対象自動車）

本サービスの対象となる自動車（以下「対象自動車」といいます。）は、株式会社コムテックのドライブレコーダーを設置した自動車とします。

第4条（本サービスの内容）

1. ドライブレコーダーを設置した加入者様が、ドライブレコーダーを設置した対象自動車を損傷する車両事故に巻き込まれた場合に見舞金を支給します。ただし、警察の発行する事故証明が取得できる事故に限ります。
●見舞金額：一律2万円
2. 本サービスの適用を受けるには、次の各号に該当しなければならないものとします。
 - (1) ドライブレコーダーを購入し、対象自動車に設置すること。
 - (2) 所定の方法で本サービス加入者リストに登録されること。
 - (3) 第2条第1項に記載の事項を満たしていること。
3. 加入者様が事故等により損害を被った対象自動車の修理を依頼し、かつ、「補償サービス利用依頼書」を株式会社コムテックに提出した場合に、加入者様は対象自動車に関して見舞金を受け取ることができます。
4. 本サービスを受けようとする場合、加入者様は次の資料を株式会社コムテックまで提出することとします。
 - (1) 補償サービス利用依頼書
 - (2) 警察が発行する事故証明書
 - (3) 対象自動車の修理見積（事故日、見積有効日より2ヶ月以内）
 - (4) ドライブレコーダーの事故映像データ
 - (5) 対象のドライブレコーダーが装着されていたことの分かる資料※ (4)(5) は、いずれかの資料を提出してください。

第5条（本サービスの提供期間）

本サービスの提供期間は本サービス加入者リスト登録日から1年後の応当日まで（以下、サービスの期日といいます）とします。また、本サービス加入者リスト登録日は次のいずれかの日とします。

- (1) Web経由にて登録する場合はWeb登録日の翌日0時から
※原則、本サービス加入者リスト登録は製品の購入後1ヶ月以内に行わなければなりません。

第6条（本サービスの提供回数）

1. 本サービスの提供は、サービス提供期間中のいずれか1回の事故に限るものとし、複数回の事故による損傷をまとめて修理する場合でも1回の事故による損傷のみが本サービスの提供対象となります。
2. 本サービスの提供は、ドライブレコーダー1台に対し1回のサービスとさせていただきます。一度、サービスを受けた加入者様は自動的に加入者リストの登録を抹消させていただきます。また、サービスの更新もできないものとさせていただきます。

第7条（本サービスの更新）

1. 本サービスはmicroSDHCカードの購入に合わせて更新することができます。ただしサービスを受けた場合には、それ以降の更新は一切できないものとします。
2. 本サービスの更新は、最初の登録を含め3回までとします。
3. 更新の申込みはサービスの期日から前後1ヶ月以内に第5項の手続きをしてください。
4. 更新後の期日はサービスの期日からさらに1年後の応当日まで更新するものとします。
5. 更新の申込みは、株式会社コムテックの運営するWebサイトからのみ手続きが可能とさせていただきます。
6. 加入者様の更新手続き完了を株式会社コムテックが確認した時点で加入者様へ「更新手続き完了のご案内」と新しいmicroSDHCカードを送付させていただきます。
7. サービスの期日から1ヶ月を過ぎても更新の申込みがない場合、自動的に補償サービス加入者リストから登録を抹消させていただきます。

補償サービス

8. サービスの期日以降の事故につきましては、更新手続きが完了していない限り補償サービスの適用対象外とさせていただきます。

第8条（本サービスを行わない場合）

1. 次の各号のいずれかに該当する場合は、本サービスの提供期間中であっても本サービスの提供は行われません。
 - (1) 警察への事故届けがない場合
 - (2) 補償サービス利用依頼書、その他株式会社コムテックが求める資料の提出がない場合
 - (3) 加入者様からご提出いただく書類等に知っている事実を記載しなかった、または、不実の記載がある場合
 - (4) 事故等が発生した日から2ヶ月を経過した後に、株式会社コムテックへの事故等の通知がなされた場合、又は対象自動車の修理のために入庫がなされた場合
 - (5) 対象自動車が日本国外において損害を被ったとき
 - (6) 法令等により禁止されているにもかかわらず対象自動車に定着、または、装着されている物に生じた損傷、および、当該物に起因して生じた損傷
 - (7) 直接、または、間接を問わず、次の事由によって対象自動車が損傷した場合
 - ① 加入者様、又は加入者様の許可を得て対象自動車を運転した者の故意、重大な過失、および、法令違反による事故の自動車の損傷
 - ② 地震、もしくは噴火又は津波その他の天災地変
 - ③ 核燃料物質（使用済核燃料を含み、以下同様とします。）もしくは、核燃料物質によって汚染された物（原子核分裂生成物を含みます。）の放射性、爆発性その他有害な特性の作用、または、これらの特性に起因する事故
 - ④ 戦争・外国の武力行使・革命・政権奪取・内乱・武装反乱・その他類似の事変又は暴動（群集または、多数の者の集団行動によって全国、または、一部の地区において著しく平穏が害され、治安維持上重大な事態と認められた場合
 - ⑤ 差押え、収用、没収、破壊など国又は公共団体の公権力の行使
 - ⑥ 詐欺、または、横領
 - ⑦ 取扱書等に示す方法と異なる使用、不適切な保管、通常の使用の限度を超える過酷な使用（レース・ラリー等による過酷な走行、エンジンの過回転、過積載等）、または、レース場での事故
 - ⑧ 対象自動車に存在する欠陥、通常の使用損耗あるいは経年変化により発生する現象（消耗部品・油脂類の消耗、劣化、腐食、摩滅、錆び等。樹脂部品・塗装面・メッキ面等の自然の退色、劣化、腐食、摩滅、錆び等）
 - ⑨ 故障（偶然かつ外来の事故に直接起因しない電氣的、または、機械的損傷をいいます）
 - ⑩ 法令により定められた運転資格を持たないで、または、酒酔い・酒気帯び、もしくは、大麻・大麻・アヘン・覚醒剤、シンナー等の影響により正常な運転ができないおそれがある状態における対象自動車の運転による事故の自動車の損傷。
 - ⑪ 加入者様の犯罪行為、または、闘争行為
 - ⑫ 盗難などで加入者様の許可を得ないで対象自動車が運転された場合の事故

第9条（本約款の変更）

株式会社コムテックは、本約款を予告なくいつでも変更することができるものとします。この場合、変更日以降の本サービスの提供内容、および、提供条件は変更後の約款が適用されるものとします。

第10条（個人情報の取扱）

1. 株式会社コムテックは、本サービスに関する加入者様の氏名、および、対象自動車に関する情報その他の個人情報（以下「個人情報」といいます）を、本サービスの引受判断、本サービスの履行の目的で利用し、当該目的に必要な範囲で書面、または、電子媒体により本サービスの提供に係る損害保険会社、および、保険代理店に第三者提供します。ただし、加入者様ご自身のお申し出により、当該加入者様ご自身の個人情報の第三者提供を停止することができます。
2. 株式会社コムテックは、業務委託先に個人情報を預託する場合は、個人情報を保護するための措置を講じたうえ預託します。
3. 個人情報の開示、訂正、および、その他のお問合せに関しましては取扱説明書の裏面、および、パッケージ記載の株式会社コムテックサービスセンターまでご連絡してください。なお、お問合せに係る書面、および電話等の内容につきましては記録を行い保存させていただきます場合があります。

本約款は2014年6月1日から発効します。

よくあるご質問

よくお問い合わせ頂くご質問を記載しています。下記内容をご確認ください。

内 容	ここをチェックしてください。	参照ページ
LED ランプが点灯しない。	● シガープラグコードのヒューズが切れていませんか？ ● シガープラグコードが接触不良や断線などしていませんか？	— 13 ページ
GPS 衛星を受信しない	● フロントガラスが断熱ガラスなどではありませんか？ ● メインカメラ側に電波を遮断する物がありますか？	6 ページ 14 ページ
記録した映像を削除したいのですが？	● ビューワソフトを使用してファイルを削除することができます。	46 ページ
事故の衝撃映像が保存されていない。	● 事故時の衝撃によっては、衝撃録画されない場合があります。念のためスイッチ操作での録画を行うことをお勧めします。	—
記録時間を変更するにはどうすればいいですか？	● [録画サイズ] および [画質] の設定を変更することで記録時間を変更することができます。	59 ページ
microSDHC カードの容量がいっぱいになったらどうなりますか？	● microSDHC カードの容量がいっぱいになると古い映像から順に消去し、新しい映像の記録を続けます。 ● イベント録画データ（衝撃 / マニュアル / 駐車監視衝撃）は上書き禁止設定を [イベント] または [ALL] に設定しているとメッセージが表示され、上書きされません。録画を再開するにはビューワソフトで不要なデータを削除するか、上書き禁止設定を [OFF] に設定してください。	28 ページ 60 ページ
microSDHC カードに録画データが保存されていない。	● microSDHC カードは消耗品であり、書き込み可能回数など製品寿命があります。1 日 2 時間程度走行する場合で約 1 ～ 2 年を目安に交換することをお勧めします。また使用状況により microSDHC カードの寿命は短くなります。	8 ページ
起動しなくなったり、動作が不安定になる。	● microSDHC カード内に本機以外のデータが保存されていますか？ ● 必要な映像をパソコンへ保存してから、本体で microSDHC カードの初期化を行なってください。	5 ページ 8 ページ
記録した映像は、事故の証拠として認められていますか？	● 事故発生時の参考資料として使用することを目的とした製品です。完全な証拠としての効力を保証するものではありません。	5 ページ
microSDHC カードがパソコンで認識されない	● お使いの SD カードリーダーは SDHC に対応していますか？ 付属のカードは microSDHC カードとなっているため、SDHC に対応している必要があります。	—
ビューワソフトが起動しない	● microSDHC カードに不要なデータや破損ファイルがあるとビューワソフトが起動しなくなります。必要なデータをパソコンに保存してから、本体で microSDHC カードをフォーマットしてください。	67 ページ

LED ランプ確認表

本体動作時の LED ランプの確認表です。

■本体 LED 表示

LED ランプ表示	本体動作	内容
緑点灯	録画中	録画中
緑点滅	録画中	衝撃録画中またはマニュアル録画中
橙点灯	録画停止	設定モード中
橙点滅	録画停止	メッセージ表示または緊急録画停止中
緑・橙交互点滅	録画停止	本体ファームウェアのアップデート中
駐車監視時		
緑 3 回早点滅	録画中	駐車監視モードによる録画中 降車キャンセルタイマー中
橙 3 回早点滅	監視中	衝撃待機中 ※録画方式 [衝撃] を選択
緑点滅	録画中	駐車監視モードによる衝撃録画中

オートディマー機能

オートディマー機能により、周囲の明るさによって LED ランプと液晶の明るさを自動的に調整します。

メッセージ一覧表

下記メッセージが表示された場合、対処方法をご確認ください。

メッセージ	対処方法
SD カードが挿入されていません	電源を OFF 後 microSDHC カードを挿入し、再起動してください。
SD カードを 確認してください	microSDHC カードが故障している可能性があります。電源 OFF 後、microSDHC カードを抜き、端子部が汚れていないか確認し、microSDHC カードを挿入し再起動してください。 症状が改善されない場合は、パソコンでフォーマットを行い、お試しください。それでも改善されない場合は microSDHC カードの寿命が考えられるため、microSDHC カードの交換をおすすめします。
録画データと設定が一致しません どちらか選択して 初期化してください	新しい microSDHC カードを挿入、または設定が異なる microSDHC カードを挿入すると表示されます。[SD カード] または [本体設定] を選択して初期化を行ってください。
録画データが変更されています SD カードの初期化を 行なってください	microSDHC カード内の録画データをパソコンで削除など操作をした際に出るメッセージです。本体で microSDHC カード初期化を行ってください。
高温注意 本体温度が下がるまで 録画を停止します	本体の使用温度範囲を超えているため、正常に録画できないことが考えられます。夏場などはしばらく時間をおいて車内の温度が下がってからご使用ください。
上書き禁止 イベント録画がいっぱいです	上書き禁止設定を [イベント] または [ALL] に設定した状態で、microSDHC カードの容量を超えて録画しようとした際に出るメッセージです。
上書き禁止 録画データがいっぱいです 録画を停止します	上書き禁止設定を [OFF] に設定するか、ビューワソフトで不要な録画データを消去してください。
リセットスイッチを押して 再起動してください	リセットスイッチを押して本製品を再起動してください。症状が改善されない場合は、購入された販売店へご相談ください。
パスワードが違います	パスワードが間違っています。正しいパスワードを再度入力してください。
しばらくお待ちください	録画データの読み込みに時間がかかる際に表示します。処理が終了するまでしばらくお待ちください。 ※状況により数分かかる場合があります。
日時がリセットされました 日時を再設定し、1 時間程度走行して バッテリーの充電を行ってください 症状が改善しない場合は、 バッテリーの交換を行ってください	長期使用していない場合や内蔵バッテリーの寿命など、内蔵バッテリーの充電不足により日時情報がリセットされた際に出るメッセージです。1 時間程度走行し内蔵バッテリーの充電を行ってください。症状が改善されない場合は弊社サービスセンターまでご相談ください。
更新に失敗しました ボタンを押すと再起動します 10 秒後に自動再起動します	機種名をご確認のうえ、専用のファームウェアをもう一度ダウンロードして更新を行ってください。
サブカメラの 接続を確認してください	サブカメラと通信できない際に出るメッセージです。カメラ通信ケーブルの接続確認を行ってください。

※ 上記メッセージ画面を表示し、LED ランプの橙点滅でお知らせします。

付 録

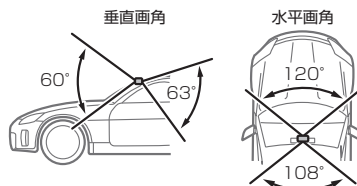
製品仕様

項目		メインカメラ	サブカメラ
電源電圧		12V/24V	
消費電流（最大）		通常時 350mA 以下（800mA 以下）	
動作温度範囲		-10℃～60℃	
カメラ	撮像素子	1/2.7 型 CMOS センサー	1/4 型 CMOS センサー
	総画素数	200 万画素	100 万画素
	有効画素数	最大 200 万画素	最大 100 万画素
	レンズ画角	水平 120° 垂直 60°（対角 151°）	水平 108° 垂直 63°（対角 134°）
	F 値	F2.0	F2.4
	レンズ材質	ガラス	ガラス
記録映像サイズ	最低照度	2LUX	2.5LUX
		FullHD（1920 × 1080）	—
		HD（1280 × 720）	HD（1280 × 720）
		SD（640 × 360）	SD（640 × 360）
録画画質	FullHD	高画質（平均 13Mbps） 低画質（平均 7.6Mbps）	
	HD	高画質（平均 6.8Mbps） 低画質（平均 3.8Mbps）	
	SD	高画質（平均 1.1Mbps） 低画質（平均 0.95Mbps）	
GPS		あり	
G センサー		あり（0.1G～1.0G：0.1G 単位で設定可）	
バックアップ電源		あり（スーパーキャパシタ）	
記録方式		常時録画／イベント録画（衝撃録画／マニュアル録画〔手動録画〕）	
録画ファイル構成		1 分単位	
音声録音		ON/OFF 可能	
フレームレート		29fps 注 1	
映像ファイル形式		MOV（MPEG-4 AVC／H.264）	
記録映像再生方法		専用ビューワソフト ※ Windows 7/8.1/10 専用（タブレット PC 除く）	
		ビデオ出力（別売：AV ケーブル〔VC-100〕が必要）	
		本体液晶	
記録媒体		microSDHC カード（付属：16GB/class10） 8GB～32GB 対応 class10 推奨	
液晶サイズ／液晶解像度		2.7 インチフルカラー TFT 液晶／320 × 240	
本体サイズ（突起部除く）		87（W）× 58.7（H）× 27（D）/mm	69.5（W）× 22（H）× 17.3（D）/mm
	取付ステー装着時	87（W）× 87.5（H）× 27（D）/mm	69.5（W）× 37.2（H）× 17.3（D）/mm
本体重量		128g（取付ステー含む）	30g（取付ステー含む）

注 1.LED 信号機が消灯状態で記録されないようにフレームレートを調整済み。

※ 本製品の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

■カメラ画角イメージ



メモ

This image shows a single page from a notebook or ledger. It features approximately 20 evenly spaced horizontal blue lines across its entire width. The margins are uniform on all sides, providing ample space for writing. There are no pre-printed headers, footers, or other markings on the page.

さくいん

1/A

GPS	7
G センサー	62
HDR	60
microSDHC カードについて	8
SD カードの初期化	67
WDR	60

あ

イベント録画	26
イベント録画件数	59
イベント録画領域	59
上書き禁止設定	60
運転支援機能	49
液晶明るさ設定	64
液晶表示設定	65
オールリセット	67
おまかせ録画	59

か

画質設定	59
かんたん再生機能	35
かんたんスイッチ	64
記録時間	28
チャリプレーション	53
緊急録画停止機能	63
黒つぶれ	60

さ

サブカメラ輝度設定	61
サブカメラ鏡像設定	61
サブカメラ上下反転設定	61
サブカメラ赤外線 LED 設定	61
車線逸脱お知らせ機能	51
車速アラーム	52
衝撃録画	26
常時録画	25
白とび	60
先行車接近お知らせ機能	50
先行車発進お知らせ機能	50

た

タイムスタンプ	62
タイムラプス録画	73
〔駐車監視〕 降車キャンセル	74
〔駐車監視〕 衝撃感度	74
〔駐車監視〕 乗車キャンセル機能	71
駐車監視スイッチ	72
駐車監視モードパス機能	72
〔駐車監視〕 録画時間	74
〔駐車監視〕 録画停止電圧	74
〔駐車監視〕 録画方式	73
〔駐車監視〕 録画割合	73
長時間運転報知機能	69
ドライブサポート	69

は

パスワード	66
ビューワソフト	39
ファイルシステム	8
ファイル名	30
フォルダー名	30
補償サービス	77

ま

マニュアル録画	27
メインカメラ画像補正設定	60
メインカメラ輝度設定	61
メイン/サブ表示切替えスイッチ	33

ら

録音設定	59
録画サイズ設定	59
録画領域	29

わ

ワンタイム駐車監視モード機能	72
----------------------	----